

資料編

目次

内容

1. 調査団員・氏名	A-1
2. 調査行程	A-3
2-1. 現地調査時(2017年1月22日～2月19日)	A-3
2-2. 現地追加調査時(2017年9月25日～10月5日)	A-4
2-3. 概要説明調査(2017年11月25日～12月3日)	A-5
3. 関係者(面会者)リスト	A-7
4. 討議議事録(M/D)	A-9
4-1. 討議議事録(現地調査時)	A-9
4-2. 協議議事録(概略説明調査時)	A-27
4-3. 討議覚書(テクニカルノート-現地調査時-)	A-57
5. ソフトコンポーネント計画書	A-69
5-1. ソフトコンポーネントを計画する背景	A-69
5-2. ソフトコンポーネントの目標	A-69
5-3. ソフトコンポーネントの成果	A-69
5-4. 成果達成度の確認方法	A-69
5-5. ソフトコンポーネントの活動(投入計画)	A-70
5-6. 投入計画	A-70
5-7. ソフトコンポーネントの実施リソースの調達方法	A-71
5-8. ソフトコンポーネントの実施工程	A-72
6. 参考資料	A-75
6-1. 事業サイト登記簿	A-75
6-2. サイト測量図	A-83
6-3. サイト地質調査結果	A-84
6-4. 環境チェックリスト	A-95

1. 調査団員・氏名

1. 調査団員・氏名

(1) 現地調査 (2017年1月22日～2月19日)

氏名	担当業務	所属先
讃井 一将	総括	独立行政法人国際協力機構 社会基盤・平和構築部都市・地域開発 G 第二 T 課長
峰 直樹	協力企画	独立行政法人国際協力機構 社会基盤・平和構築部都市・地域開発 G 第二 T
小泉 浩隆	業務主任/施設計画 1	(株) コーエイリサーチ&コンサルティング
山野 嘉彦	副業務主任/施設計画 2	(株) コーエイリサーチ&コンサルティング
星合 善文	建築設計	日本工営 (株)
早原 章広	施工計画/積算	(株) コーエイリサーチ&コンサルティング (補強: (有) ハヤハラ・アトリエ)
青木 正幸	機材・調達計画	(株) コーエイリサーチ&コンサルティング (補強: (株) フジタプランニング)
谷本 晋一郎	環境社会配慮	日本工営 (株)
高村 東吾	自然条件調査	日本工営 (株)
生熊 恵美	通訳	(株) 翻訳センターパイオニア

(2) 現地追加調査 (2017年9月25日～10月5日)

氏名	担当業務	所属先
早原 章広	施工計画/積算	(株) コーエイリサーチ&コンサルティング (補強: (有) ハヤハラ・アトリエ)
橋爪 雅彦	通訳	(株) コーエイリサーチ&コンサルティング (補強: (株) フランシール)

(3) 概要説明調査 (2017年11月25日～12月3日)

氏名	担当業務	所属先
峰 直樹	総括/計画管理	独立行政法人国際協力機構 社会基盤・平和構築部都市・地域開発 G 第二 T
小泉 浩隆	業務主任/施設計画 1	(株) コーエイリサーチ&コンサルティング
山野 嘉彦	副業務主任/施設計画 2	(株) コーエイリサーチ&コンサルティング
生熊 恵美	通訳	(株) 翻訳センターパイオニア

2. 調査行程

2-1. 現地調査時（2017年1月22日～2月19日）

2-2. 現地追加調査時（2017年9月25日～10月5日）

2-3. 概要説明調査（2017年11月25日～12月3日）

2. 調査行程

2-1. 現地調査時 (2017年1月22日～2月19日)

現地調査1										2018/3/9			
氏名			小泉 浩隆	山野 嘉彦	星合 善文	早原 章広	青木 正幸	谷本 晋一郎	高村 東吾	生熊 恵美			
所属			SSC	SSC 補強	NK	SSC 補強	SSC補強	NK	NK	翻訳センター バイオエア			
No.	月日	曜日	官団員 (総括および計画管理)	業務主任/施設計画 1	副業務主任/施設計画 2	建築設計	施工計画/積算	機材・調達計画	環境社会配慮	自然条件調査	通訳		
1	1月22日	日		羽田→パ/リ→キンシャサ	羽田→パ/リ→キンシャサ		羽田→パ/リ→キンシャサ	羽田→パ/リ→キンシャサ			羽田→パ/リ→キンシャサ		
2	1月23日	月		JICA、表敬訪問、 サイト調査	同左	成田→	サイト調査、 積算アンケート配布	業務主任に同じ	成田→		業務主任に同じ		
3	1月24日	火		C/Pとの協議 サイト調査	同左	→パ/リ→キンシャサ	調達事情調査	業務主任に同じ	→パ/リ→キンシャサ		業務主任に同じ		
4	1月25日	水		規模設定、コンポーネント 優先順位検討 サイト調査	同左	業務主任に同じ	調達事情調査	調達事情調査	同左		業務主任に同じ		
5	1月26日	木		規模設定、コンポーネント 優先順位検討 サイト調査	同左	同左	調達事情調査	調達事情調査	調査準備、関連法規 調査		業務主任に同じ		
6	1月27日	金		他ドナー調査	同左	業務主任に同じ	調達事情調査	調達事情調査	他ドナー調査、NGO 調査		業務主任に同じ		
7	1月28日	土		団内協議	同左	同左	同左	同左	関連法規調査		業務主任に同じ		
8	1月29日	日		資料整理	同左	同左	同左	同左	同左		業務主任に同じ		
9	1月30日	月		羽田→パ/リ→プリュッセル→ キンシャサ	同左	業務主任に同じ	他ドナー調査・インフラ 調査	業務主任に同じ	同左		業務主任に同じ		
10	1月31日	火		JICA、調査団、大使館表 敬、DRC側（スポーツ省、内 務省、警察他）、サイトビ ジット	同左	業務主任に同じ	調達事情調査、免税 調査	業務主任に同じ	業務主任に同じ	羽田→パ/リ→キンシャ サ	業務主任に同じ		
11	2月1日	水		ミッツ協議	同左	同左	建築計画案協議	業務主任に同じ	業務主任に同じ	自然条件調査業者 ネゴ・契約、調査準 備	業務主任に同じ		
12	2月2日	木		ミッツ協議	同左	同左	建築計画案策定	業務主任に同じ	環境省庁、キンシャサ 市環境局聴取	自然条件調査業者 ネゴ・契約、調査準 備	業務主任に同じ		
13	2月3日	金		他ドナー協議、ミッツ署名	同左	同左	施工計画・安全管理 計画協議	業務主任に同じ	業務主任に同じ	自然条件調査開始、 自然条件調査監視・ インフラ調査	業務主任に同じ		
14	2月4日	土		サイトビジット、団内協議	団内協議	同左	同左	同左	他ドナー調査、NGO 調査	自然条件調査監視・ インフラ調査	業務主任に同じ		
15	2月5日	日		資料整理	資料整理	同左	同左	同左	同左	自然条件調査監視・ インフラ調査	業務主任に同じ		
16	2月6日	月		(キンシャサ都市交通M/P 第1回JCC（日程調整 中）） JICA、大使館報告 キンシャサ→	建築+機材計画策 定	同左	同左	調達事情調査	機材計画案協議	同左	業務主任に同じ		
17	2月7日	火		→プリュッセル→パ/リ→	組織体制、財務資料 収集	環境省庁聴取	建築計画：設計案 策定	調達事情調査	機材計画案策定	関連法規調査	同左	業務主任に同じ	
18	2月8日	水		→成田	施工計画・安全管理 計画協議	運営維持管理計画 協議	建築計画：設計案 策定	現地企業調査	代理店、販売店聴取	追加調査	自然条件調査監視・ インフラ調査	業務主任に同じ	
19	2月9日	木			テクニカルノート案作 成	同左	業務主任に同じ	現地企業調査	テクニカルノート作成	追加調査 キンシャサ→	自然条件調査監視・ インフラ調査	業務主任に同じ	
20	2月10日	金			テクニカルノート案説 明	同左	追加調査 キンシャサ→	現地企業調査	追加調査 キンシャサ→	→パ/リ→	自然条件調査監視・ インフラ調査	業務主任に同じ	
21	2月11日	土			資料整理	同左	→パ/リ インフラ調査	資料整理	→パ/リ インフラ調査	→成田	自然条件調査監視・ インフラ調査	業務主任に同じ	
22	2月12日	日			資料整理	同左	追加調査 パ/リ→	資料整理	追加調査 パ/リ→	/	資料整理	業務主任に同じ	
23	2月13日	月			テクニカルノート作成	同左	→成田	現地企業調査	→成田		同左	同左	業務主任に同じ
24	2月14日	火			テクニカルノート提出・ 署名	同左	/	積算アンケート回収	/		同左	同左	業務主任に同じ
25	2月15日	水			現地企業調査	同左		積算アンケート回収			自然条件調査監視・ インフラ調査	業務主任に同じ	
26	2月16日	木			追加調査	同左		積算アンケート回収			自然条件調査監視・ インフラ調査	業務主任に同じ	
27	2月17日	金			追加調査 キンシャサ→	追加調査 キンシャサ→		追加調査 キンシャサ→			追加調査 キンシャサ→	追加調査 キンシャサ→	追加調査 キンシャサ→
28	2月18日	土			→パ/リ→	→パ/リ→		→パ/リ→			→パ/リ→	→パ/リ→	→パ/リ→
29	2月19日	日			→成田	→成田		→成田			→成田	→成田	→成田

※副業務主任/施設計画2の7日延長分については自社負担とする。

2-2. 現地追加調査時（2017年9月25日～10月5日）

			早原 章広	橋口 雅彦
			KRC補強	KRC補強
			施□計画/積算	通訳
1	9月25日	月	東京(□□)→	施□計画/積算と同じ
2	9月26日	火	→パリ→キンシャサ	同上
3	9月27日	水	午前:地盤調査業者と打合せ、現地調査準備 午後:PNC追加調査内容説明、地盤調査業者契約、打合せ	同上
4	9月28日	木	午前:地盤調査業者機材搬入調査準備立会い 現地建設会社調査、設備業者、資材店調査 午後:地盤調査開始確認、デイリーレポート確認 現地建設会社調査、設備業者、資材店調査	同上
5	9月29日	金	午前:地盤調査監理 現地建設会社調査、設備業者、資材店調査 午後:地盤調査監理、デイリーレポート確認 現地建設会社調査、設備業者、資材店調査	同上
6	9月30日	土	午前:地盤調査監理 現地建設会社調査、設備業者、資材店調査 午後:地盤調査業者機材搬出、デイリーレポート確認 現地建設会社調査、設備業者、資材店調査	同上
7	10月1日	日	午前:地盤調査予備日、資料整理 午後:地盤調査予備日、資料整理	同上
8	10月2日	月	午前:地盤調査結果クイックレポート受領 現地建設会社、設備業者、資材店調査 午後:PNC調査結果報告、JICA調査結果報告	同上
9	10月3日	火	午前:現地建設会社、設備業者、資材店調査 午後:現地建設会社、設備業者、資材店調査 キンシャサ→	同上
9	10月4日	水	→パリ→	同上
10	10月5日	木	→東京(成□)	同上

2-3. 概要説明調査（2017年11月25日～12月3日）

	月日	曜日	官団員 (総括および計画管理)	業務主任/施設計画1	副業務主任/施設計画2	通訳
1	11月25日	土	成田→香港→	成田→香港→	成田→香港→	成田→香港→
2	11月26日	日	→アディシアババ→キンシャサ	→アディシアババ→キンシャサ	→アディシアババ→キンシャサ	→アディシアババ→キンシャサ
3	11月27日	月	JICA・大使館表敬・ 相手国DFR説明（スポーツ省、PNC）	同左	業務主任に同じ	業務主任に同じ
4	11月28日	火	サイト、前面道路踏査、団内会議 ミッツ案協議01	同左	現地情報収集01 税金関連調査	業務主任に同じ
5	11月29日	水	ミッツ案協議02	同左	現地情報収集02 柔道連盟・空手連盟	業務主任に同じ
6	11月30日	木	ミッツ署名→大使報告	同左	現地情報収集03 バレーボール、バスケットボール	業務主任に同じ
7	12月1日	金	キンシャサ→アディシアババ→	現地情報収集04 建設機械、工法等	業務主任に同じ	業務主任に同じ
8	12月2日	土	→東京	キンシャサ→アディシアババ→	キンシャサ→アディシアババ→	キンシャサ→アディシアババ→
9	12月3日	日		→東京	→東京	→東京

3. 関係者（面会者）リスト

3. 関係者（面会者）リスト

Oranisation	Titre/Fonction/Appartenance	NOM et Prénom	
PNC (国家警察)	Commissaire Général	Général AMULI Dieudonné Amuli	
	Coord Nat CRP	NZILA Alain David	
	Chef de SGEI adjoint / chef CAMO Infra	MUHASA BAKWANAMAHA Barnabe	
	Chef de service adjoint Affaires Sociales (Sports)	MUBIKAY MUBI Baudouin	
	Conseiller COMGEN	KABUYA KAYEMBE Kelly	
	Chef de Departement du Budget & Finances	MUHEMERI GOGOLO Hubert	
	Chef, CAMO Adj Infra	NGOY MWIPATAY Gabriel	
	Charge d' Etudes	SAKS Awansaba	
	Coord Nat Adj CRP	MUTONBO Kambol	
	Secrétaire	MARTINS Maghene	
	Chef de Departement du Budget & Finances	GOGOLO Muhemeri Hubert	
MJSL (青年・スポーツ・余暇省)	Secretariat General aux Sports et Loisirs	OKITO OLEKA Barthelemy	
	Division Etudes et Planification	BOFALA ELANGA Dieudonné	
	Division Unique	Ali Sadala	
	Direction des Loisirs	Joseph Ngombe	
	Direction des Activites, Physiques et Sportives	Tshibangu	
	Direction des Infrastructures, Equipments, Sportifs et des Loisirs	Mujangi Bisekayi	
	Division Technique	Biangani Modjoyo	
	Fédération Nationale Congolaise de Judo (柔道連盟)	Administrateur & President de la Federation	MAKOBO Dominique Dominique
		Secrétaire général de la FENACOJU	MANGILI ADIKWA Pierre
		National team Coach	Pija
		National team Head Coach	M Lionge
	Kinshasa Judo Ligue	President	Tshiam Aliwu Eugene
	Judo club Centrakin	Coach	Richard Mayuku
	Judo Club IKAM	President	Zanga Zacky
	Judo Club LTK	Capitaine	Degaule Kaniki
	Tshangu Judo Club	President/ Coach Judo Club LKT	Fantomas Bekantu
	Judo Club Saint Paul	Coach	Mboyo Bolela Paul
		Member	Kande Babby
	Congo-Japan complex, Judo club	Coach	Golois
		Secretary	Serge Umba
	Representative of Athenee de la Gombe, Ministry of Education	Chief Representative	Jose Nkongolo
	Basketball Federation	President	Gode Kabanba
	Ligue Provincial de Basket Ball de Kinshasa	President	Norbert Mpoyi Cilo
	Volleyball Federation	President	Christian Matata Shwiti
		General Secretary	Shakob Woot
		Tresoriere	Eminence Nzazi Nzekika
		Member	Elly Bandi Bandi
Press		Dieudonne Mukendi	
Press		Mimiche Omatuku	
Cameraman	Elaba Zizou		
Handball Federation, Kinshasa	President	Herman Ngediko	
Braza ville	Judo Federation in Brazzaville	Third Vice President	
	Talangai Stadiuim, Brazzaville	Coach	
Stadium	Martyrs Stadiuim	Administrateur General	
		Marketing	
	Complexe Omnisports Stade Tata Raphael	Administrateur Gestionnaire Charge de Maintenance et Exploitation	
Congo-Japan complex	Manager		
日本側関係者	在コンゴ民主共和国大使館	参事官	
		2等書記官、主任	
		2等書記官	
	JICA コンゴ民主共和国事務所	Représentant Résident	
		Représentant Résident Adjoint	
		Directrice Adjointe des Programmes	
Projet de Professionnalisation de la Police pour la Population et la Paix	Conseiller en chef		
	Coordonnatrice des activités		

4. 討議議事録 (M/D)

4-1. 討議議事録 (現地調査時)

4-2. 討議議事録 (概略説明調査時)

4-3. 討議覚書

(テクニカルノート-現地調査時-)

4. 討議議事録 (M/D)

4-1. 討議議事録 (現地調査時)

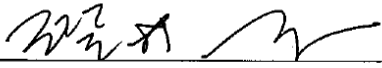
**COMPTE RENDU DES DISCUSSIONS
SUR
L'ETUDE PREPRATOIRE POUR
LE PROJET DE CONSTRUCTION DE CENTRE SPORTIF DE JUDO
EN REPUBLIQUE DEMOCRATIQUE DU CONGO**

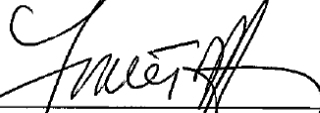
Sur la base de discussions préliminaires entre le Gouvernement de la République Démocratique du Congo (désignée ci-après par « la partie congolaise ») et l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (désignée ci-après par « la JICA ») en RDC, le Gouvernement Japonais a décidé de mener une étude préparatoire pour « le Projet de Construction de Centre Sportif de Judo » (désigné ci-après par « le Projet ») et a confié son exécution à la JICA.

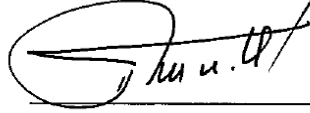
Pour effectuer ladite étude, la JICA a envoyé du 30 janvier au 6 février 2017 une mission d'étude (désignée ci-après par « la Mission ») en RDC, conduite par M. Kazumasa SANUI, Directeur de la Division 2, Département de Consolidation de la Paix et Développement Urbain et Régional de la JICA.

La Mission a tenu des discussions avec les autorités concernées de la partie congolaise telles que le Ministère de la Jeunesse, Sports et Loisirs et la Police Nationale Congolaise (désignée ci-après par « la PNC »), et effectué sur le terrain une étude des sites concernés. A l'issue de ces discussions et de cette étude sur le terrain, les deux parties ont convenu de points décrits en Appendice. La Mission continuera son étude sur le terrain et élaborera un rapport de l'étude préparatoire.

Fait à Kinshasa, le 3 février 2017


M. Kazumasa SANUI
Chef de la Mission
Agence Japonaise de Coopération
Internationale
Japon


M. Barthélemy OKITO OLEKA
Secrétaire Général
Ministère de la Jeunesse, Sports et Loisirs
République Démocratique du Congo


Général Charles BISENGIMANA
Commissaire Général
Police Nationale Congolaise
République Démocratique du Congo

APPENDICE

1. Objectif du Projet

Le Projet a pour objectif de promouvoir, à travers la construction d'un centre sportif de judo et l'équipement du centre, sa large utilisation par la population congolaise, promouvoir également les sports et le développement sain de la jeunesse en RDC afin de contribuer à la stabilité de la paix du pays.

2. Intitulé de l'Etude Préparatoire

Les deux parties ont convenu de l'intitulé de l'Etude Préparatoire comme « l'étude préparatoire pour le Projet de Construction du Centre Sportif de Judo ».

3. Site du Projet

Suite à l'étude et aux discussions, les deux parties ont confirmé que le site du Projet se situe sur le terrain indiqué dans l'Annexe 1. Toutefois, lorsque les difficultés concernant le site prévu pour le Projet sont constatées suite aux examens techniques tels que l'étude des conditions naturelles, d'autres discussions entre les deux parties seront requises sur la sélection de site du Projet. La partie congolaise a soumis les documents datés respectivement du 12 et du 13 septembre 2014 prouvant que ledit terrain appartient à la PNC.

4. Organisme Responsable et Organisme d'Exécution de Projet

Les deux parties ont confirmé comme suit :

- L'organisme responsable du Projet est le Ministère de la Jeunesse, Sports et Loisirs.
- L'organisme d'exécution du Projet est la PNC.

Leurs organigrammes sont indiqués respectivement dans les Annexes 2 et 3.

5. Demande de la Partie Congolaise

5-1. La partie congolaise a demandé les infrastructures et les équipements tels qu'ils sont indiqués dans l'Annexe 4.

5-2. La JICA examinera la pertinence du contenu de ladite demande et en fera un rapport au Gouvernement Congolais et au Gouvernement Japonais. Sur la base de son résultat, la JICA discutera avec le Gouvernement Congolais et déterminera les composantes du Projet. Toutefois, ces composantes pourront faire l'objet de modification en fonction de diverses conditions.

6. Système de Coopération Financière Non Remboursable du Japon

La partie congolaise a pris connaissance du système de coopération financière non remboursable du Japon (Annexe 5) expliqué par la Mission.

7. Politique Principale de l'Utilisation du Centre

La politique de l'utilisation du présent centre est indiquée dans l'Annexe 6.

8. Calendrier prévu

8-1. Suite à la présente étude sur la conception sommaire, la JICA procédera à l'analyse au Japon après la présente étude sur le terrain, élaborera la conception sommaire des



infrastructures et équipements ainsi que l'estimation des coûts du Projet, et rédigera le rapport de l'étude préparatoire (avant-projet). La JICA enverra une mission chargée de l'expliquer aux environs d'août 2017 dans le cadre de laquelle la mission expliquera à la partie congolaise les grandes lignes de la conception sommaire et confirmera les dispositions nécessaires à prendre par cette dernière.

- 8-2. La partie congolaise soumettra une requête officielle du Projet au Gouvernement japonais au plus tard en juin 2017.
- 8-3. Lorsque la partie congolaise donne son accord de principe sur le contenu de l'avant-projet du rapport de l'étude préparatoire et le conseil des ministres du Gouvernement japonais approuve le Projet, la JICA finalisera le rapport de l'étude préparatoire et l'enverra à la partie congolaise.
- 8-4. Le calendrier mentionné ci-dessus est donné à titre provisoire et susceptible de modification.

○ **9. Considérations Environnementales et Sociales**

- 9-1. La partie congolaise a confirmé la prise en compte adéquat des aspects environnementaux et sociaux pendant la mise en œuvre du Projet et après son achèvement, en conformité avec les Lignes Directives relatives aux Considérations Environnementales et Sociales de la JICA (Avril 2010).
- 9-2 La Mission poursuivra toutefois son étude afin de déterminer la nécessité d'effectuer l'étude d'impacts environnementaux (EIE) par la partie congolaise.

10. Autres Questions Concernées

○ **10-1. Positionnement du Centre**

Les deux parties ont convenu que la conception, la construction et la gestion du présent centre seront effectuées pour déterminer la nécessité sur base des orientations suivantes :

- a) Le présent centre sera conçu de manière à ce qu'il puisse être principalement utilisé par la population civile en tant qu'établissement « ouvert aux citoyens » pour promouvoir sa large utilisation, le développement sportif en RDC et le développement sain de la jeunesse et contribuer « à la stabilisation et à la paix du pays ». Les orientations en matière d'utilisation du centre, notamment les jours et les horaires ouverts à la population, les tarifs d'utilisation ainsi que les conditions particulières d'utilisation seront déterminées par la partie congolaise. Ils sont détaillés dans l'Annexe 6.
- b) Le présent centre sera conçu en prenant en considération l'accessibilité pour les personnes âgées et les personnes à mobilité réduite.
- c) Le présent centre sera conçu de manière à ce qu'il puisse être utilisé non seulement pour les entraînements quotidiens de judo mais également pour les compétitions de judo de la RDC (compétitions nationales, etc.). Les tailles et d'autres conditions requises du présent centre en tant qu'infrastructure sportive sont :
 - Capacité d'accueil du centre : à prévoir après le résultat de l'étude préparatoire
 - Aire de combat pour le judo : Suivant les normes internationales

- Dimensions de Tatami pour le judo : Suivant les normes internationales
- d) Le présent centre sera également conçu, à part le judo, pour les disciplines sportives en salle.

10-2. Principe de Base sur l'Examen du Contenu de la Requête des Equipements

A : Equipements indispensables pour pratiquer le judo et organiser les compétitions de judo (nationales)

B : Equipements nécessaire pour pratiquer les disciplines sportives en salle à part le judo

N.B. : L'ordre de priorité établi ci-dessus est susceptible de modification au stade de la conception détaillée.

10-3. Dispositions à prendre par la partie congolaise

Les deux parties ont convenu que la partie congolaise assurera la dotation budgétaire nécessaire et prendra les dispositions à sa charge décrites dans l'Annexe 7 dans les délais impartis. En ce qui concerne l'exonération des droits et taxes, les deux parties ont également convenu que la partie congolaise prendra impérativement les mesures nécessaires.

10-4. Plan d'Affectation des Personnels

Les deux parties ont convenu que la partie congolaise assurera l'affectation des personnels nécessaires pour l'exploitation et la maintenance appropriées et durables du centre construit et des équipements fournis dans le cadre du Projet. Elles ont également convenu que la partie congolaise élaborera le plan d'affectation des personnels nécessaires et le soumettra au bureau de la JICA en RDC avant l'arrivée de la mission chargée de présenter l'aperçu du Projet prévu en août 2017.

Fi

Annexe 1 : Site prévu pour le Projet

Annexe 2 : Organigramme du Ministère de la Jeunesse, Sports et Loisirs


Annexe 3 : Organigramme de la PNC

Annexe 4 : Liste des infrastructures, installations et équipements

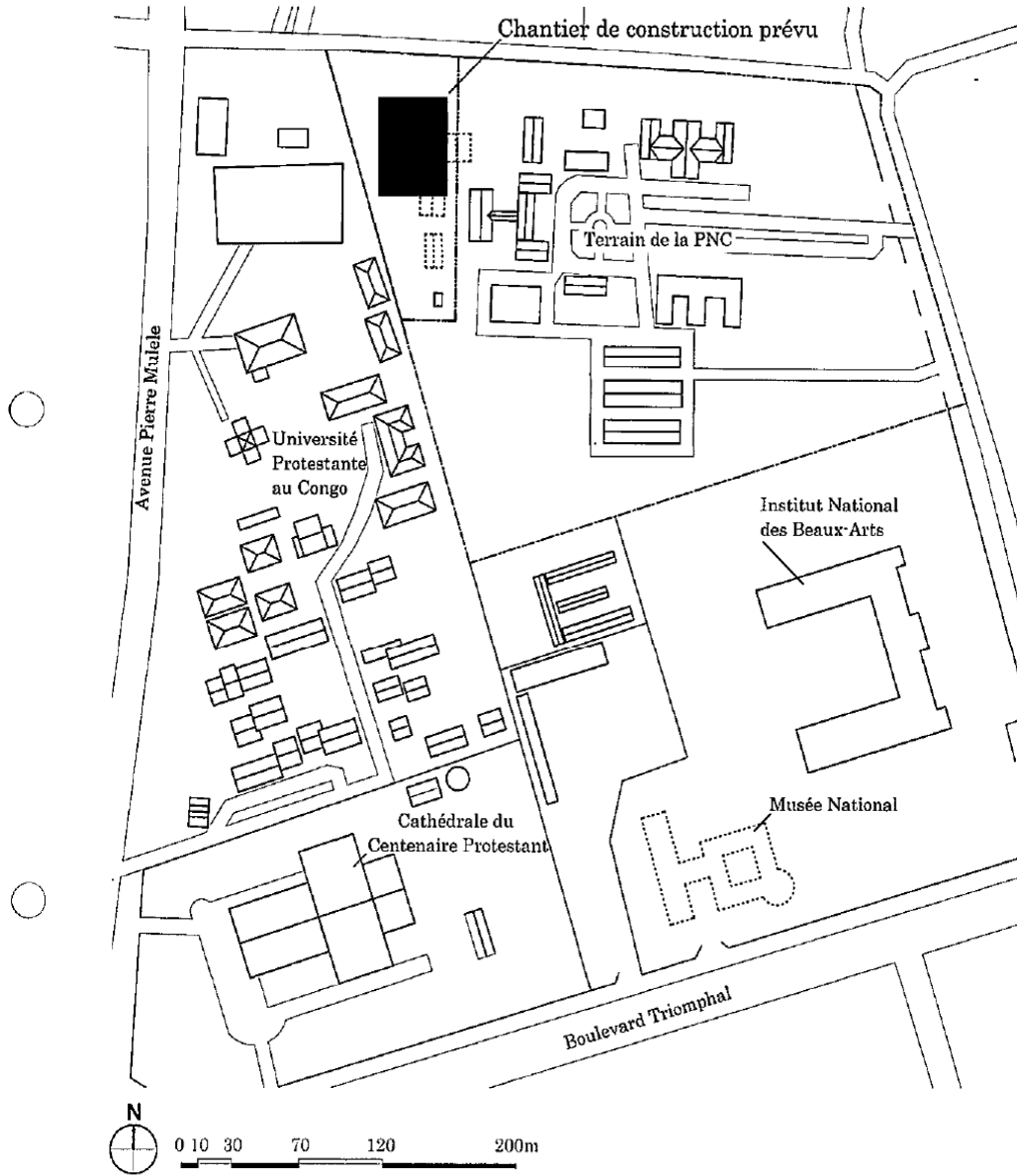
Annexe 5 : Système d'aide financière non remboursable du Japon

Annexe 6 : Politique principale d'utilisation du centre sportif de judo

Annexe 7 : Dispositions à prendre par la partie congolaise et la partie japonaise



Annexe 1 : Site prévu pour le Projet

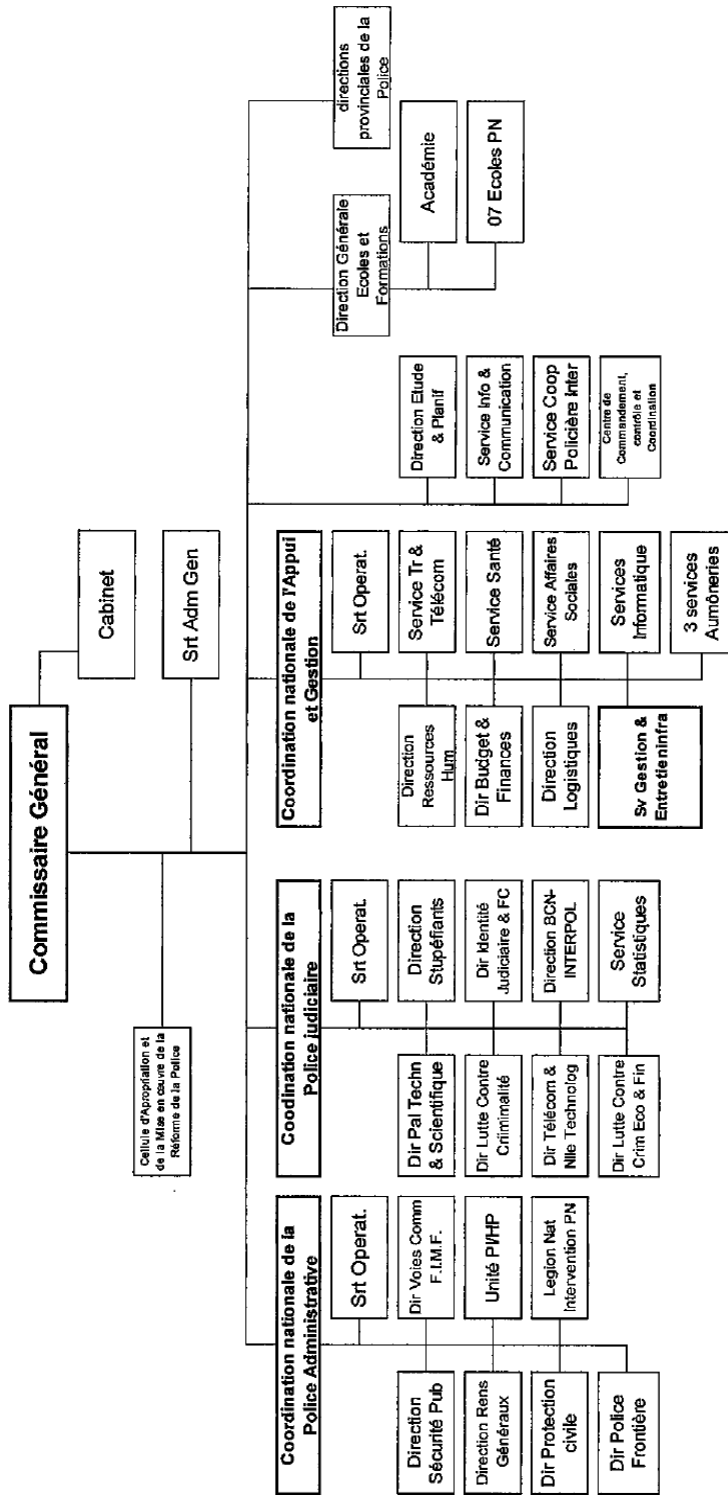


Site prévu pour le Projet

Handwritten signature

Handwritten signature

Annexe 3 : Organigramme de la PNC



Handwritten signature

Handwritten signature

Annexe 4 : Liste des infrastructures, installations et équipements

Aperçu des Infrastructures Demandées par la Partie Congolaise

Salles	Nombre
ADMINISTRATION	-
Locaux des Bureaux	-
Salle des réunions	-
Poste interne sécurité	-
SPORT	
Salle ultra moderne de Judo	-
Terrains omnisports (Basket-ball, volley-ball, handball, tennis, etc.)	2
Piscine Olympique	1
Salle de Musculation	1
Salle de Gymnastique	1
Dispensaire	1
Salle Antidopage	1
Tribune de presse	1
FORMATION	
Bibliothèque	-
Salle Information	-
Salle des officiels	-
Salle des officiels sportifs	-
Salle des interprètes	-
SERVICES GENERAUX	
Intendance	-
Dépôts	-
Cafétéria	-
Mess des athlètes	-
Shopping Sportif	-
Buanderie	-
Groupe électrogène	-
Eclairage public	-
Vidéo surveillance	-
Routes	-
Parking	-

Handwritten signature

Handwritten signature

Handwritten mark

COOPERATION FINANCIERE NON REMBOURSABLE DU JAPON

Conformément à la loi portant sur la JICA et qui est entrée en vigueur le 1^{er} octobre 2008 et la décision du Gouvernement du Japon (ci-après dénommé «le GdJ») de mettre en œuvre les réformes organisationnelles pour améliorer la qualité de l'aide au développement, la JICA est devenue l'agence exécutive de la coopération financière non remboursable du Japon pour les projets en général, la pêche et la coopération culturelle, etc.

La coopération financière non remboursable consiste en des fonds non remboursables attribués à un pays bénéficiaire pour le financement d'infrastructures, d'équipements et de services (services techniques et transport des produits, etc.) pour le développement socio-économique du pays, en conformité avec les lois et réglementations du Japon. La coopération financière non remboursable ne s'effectue pas sous forme de don de matériel au pays bénéficiaire.

1. Procédures de la Coopération financière non remboursable du Japon

La coopération financière non remboursable du Japon est menée comme suit :

- Etude préparatoire
 - Etude menée par la JICA
- Estimation et Approbation
 - Estimation est faite par le GdJ et la JICA. L'approbation par le Conseil des ministres du Japon
- Autorité en charge de déterminer l'exécution
 - Echange de Notes entre le GdJ et un pays bénéficiaire
- Accord de Don (ci-après dénommé « l'A/D »)
 - Accord conclu entre la JICA et un pays bénéficiaire
- Exécution
 - Mise en œuvre du Projet sur la base de l'A/D

2. Etude préparatoire

(1) Contenus de l'Etude

Le but de l'Etude est de fournir un document de base nécessaire pour l'estimation du Projet par la JICA et le GdJ. Le contenu de l'Etude est le suivant:

- confirmer le contexte de la requête, les objectifs et les effets du Projet ainsi que les capacités des organismes concernés du pays bénéficiaire nécessaires à l'exécution du Projet.
- évaluer la pertinence du Projet à exécuter dans le cadre de la coopération financière non remboursable d'un point de vue technique, financier et socio-économique
- confirmer le concept de base du Projet convenu entre les deux parties

- préparer un concept de base du Projet ; et
- estimer les coûts du Projet

Le contenu de la requête faite par le pays bénéficiaire n'est pas obligatoirement approuvé en tant que contenu de la coopération financière non remboursable. Le concept de base du Projet doit être confirmé en se basant sur le système de coopération financière non remboursable du Japon.

La JICA demande au gouvernement du pays bénéficiaire de prendre toutes les mesures qui pourraient s'avérer nécessaires pour assurer son indépendance dans l'exécution du Projet. Ces mesures doivent être garanties même si elles n'entrent pas dans la juridiction de l'organisme du pays bénéficiaire en charge de l'exécution du Projet. Par conséquent, l'exécution du Projet est confirmée par toutes les parties prenantes du pays bénéficiaire à travers la signature des procès-verbaux des discussions.

(2) Sélection des consultants

En vue de la bonne exécution de l'Etude, la JICA utilise un (des) consultant(s) autorisé(s). La JICA effectue une sélection sur la base des propositions soumises par les consultants intéressés.

(3) Résultat de l'Etude

La JICA examine le rapport de l'Etude, et après confirmation de la pertinence du Projet dans le cadre de la coopération financière non remboursable, elle recommande au GdJ d'examiner sa mise en œuvre.

3. Système de coopération financière non remboursable du Japon

(1) E/N et A/D

Après l'approbation du Projet par le Conseil des ministres du Japon, l'Echange de Notes (ci-après dénommé « l'E/N ») sera signé entre le GdJ et le Gouvernement du pays bénéficiaire pour l'engagement de l'assistance, et en suite, l'A/D sera conclu entre la JICA et le Gouvernement du pays bénéficiaire. L'A/D définira, en conformité avec l'E/N, les clauses nécessaires pour l'exécution du Projet, telles que les conditions de paiement, les responsabilités du Gouvernement du pays bénéficiaire, et les conditions d'approvisionnement.

(2) Sélection des Consultants

Le(s) consultant(s) qui a (ont) mené l'Etude sera (seront) recommandé(s) par la JICA au pays bénéficiaire pour qu'il (ils) soit (soient) retenu(s) aussi dans le cadre de l'exécution du Projet après l'E/N et l'A/D en vue de maintenir l'uniformité technique.

(3) Pays d'origine éligible

Les fonds de la coopération financière non remboursable du Japon doivent être, en principe, utilisés exclusivement pour l'achat des produits et services d'origine japonaise ou ceux du pays bénéficiaire. Néanmoins, la coopération financière non remboursable peut être utilisée pour l'achat des produits ou des services d'un pays tiers. Toutefois, en principe, les principaux contractants, à savoir l'entreprise de construction, la société de commerce et le consultant qui

sont indispensables pour la mise en œuvre de la coopération, doivent être exclusivement des ressortissants japonais.

(4) Nécessité de la "vérification"

Le gouvernement du pays bénéficiaire ou son représentant autorisé conclura les contrats, libellés en principe en Yen japonais, avec les ressortissants japonais. Ces contrats seront vérifiés par la JICA. Cette vérification est nécessaire car les fonds de la coopération financière non remboursable proviennent des taxes des citoyens japonais.

(5) Principales mesures à prendre par le gouvernement du pays bénéficiaire

Lors de l'exécution du Projet de la coopération financière non remboursable, le pays bénéficiaire devra prendre les mesures définies en Annexe. .

(6) "Bonne gestion des ouvrages"

Le Gouvernement du pays bénéficiaire est requis d'entretenir et d'utiliser les installations construites et les équipements achetés dans le cadre de la coopération financière non remboursable de manière adéquate et efficace et de désigner le personnel nécessaire pour le fonctionnement et la maintenance ainsi que de prendre en charge toutes les dépenses autres que celles couvertes par la coopération financière non remboursable.

(7) "Exportation et Ré-exportation"

Les produits achetés dans le cadre de la coopération financière non remboursable ne doivent pas être exportés ou réexportés à partir du pays bénéficiaire.

(8) "Arrangement bancaires (A/B)"

- a) Le gouvernement du pays bénéficiaire ou son représentant autorisé devra ouvrir un compte au nom du gouvernement du pays bénéficiaire dans une banque, et ce, au Japon en principe (ci-après dénommée la "Banque"). La JICA exécutera la coopération financière non remboursable en procédant aux paiements, en principe en Yen japonais, pour couvrir les obligations du gouvernement du pays bénéficiaire ou de son représentant autorisé.
- b) Les paiements seront effectués lorsque les demandes de paiement seront présentées par la Banque à la JICA conformément à l'Autorisation de Paiement émise par le gouvernement du pays bénéficiaire ou de son représentant autorisé.

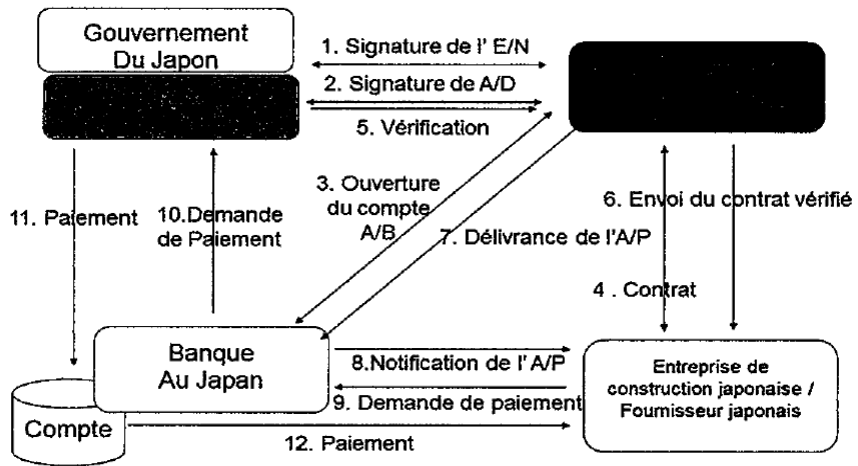
(9) Autorisation de Paiement (A/P)

Le Gouvernement du pays bénéficiaire devra régler à la banque la commission de notification de l'autorisation de paiement et la commission de paiement.

(10) Considérations sociales et environnementales

Le pays bénéficiaire doit prendre suffisamment en considération les impacts sociaux et environnementaux du Projet, et doit se conformer aux règlements environnementaux en vigueur du pays bénéficiaire et aux directives socio-environnementales de la JICA.

Système de financement de la Coopération financière non remboursable du Japon

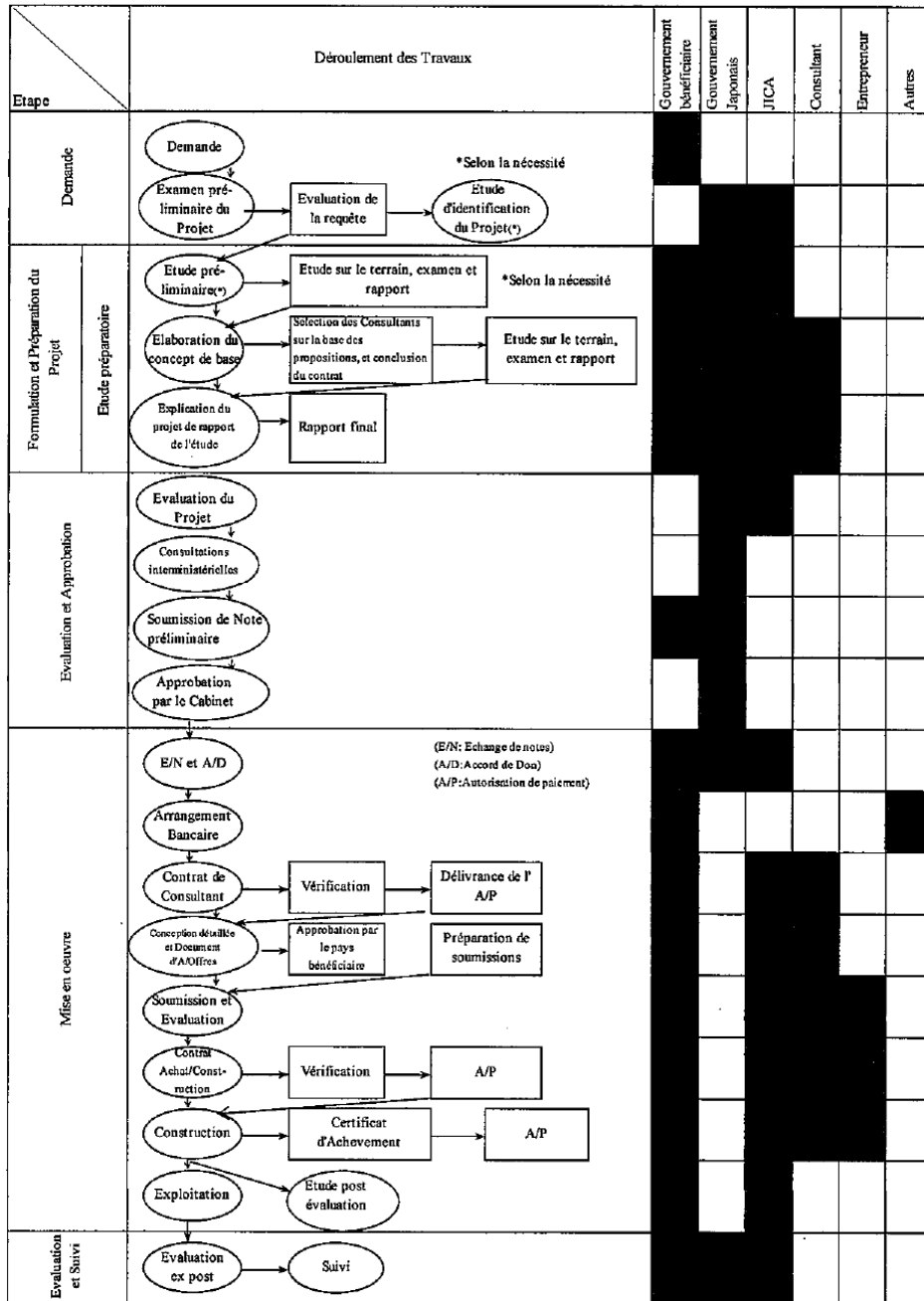


Handwritten signature

Handwritten signature

Handwritten signature

Schéma de procédure de la Coopération financière non remboursable du Japon



AD

2/2

Politique Principale d'Utilisation du Centre Sportif de Judo

Le présent centre sportif de judo, prévu pour être construit dans l'enceinte de la Police Nationale Congolaise, se verra doté de politique d'utilisation suivante en tant qu'établissement sportif de judo ouvert à la population civile et sera conçu en tant que tel.

1. Objectif du Centre Sportif de Judo

Le Projet a pour objectif de promouvoir, à travers la construction d'un centre sportif de judo et l'équipement du centre, sa large utilisation par la population congolaise, les sports et le développement sain de la jeunesse en RDC afin de contribuer à la stabilité de la paix du pays.

2. Aperçu du Centre

Etablissement sportif de judo / polyvalent

3. Utilisateurs du Centre

L'utilisation du présent centre est prévue comme suit. Toutefois, les détails seront déterminés par le comité de gestion.

Utilisateurs	Objectif d'utilisation	Fréquence d'utilisation
Population générale	1) Entraînement de judo 2) Pratique d'autres disciplines sportives	Quotidiennement
Police Nationale Congolaise	1) Entraînement à travers le judo 2) Autres disciplines sportives	Quotidiennement
Ministère des Sports et Fédération Nationale Congolaise de Judo (FENACOJU)	Organisation d'une compétition nationale	Quotidiennement, plus compétitions nationales

4. Système et Gestion du Centre

Par la signature d'un arrêté interministériel des ministères compétents (Ministère de l'Intérieur et Ministère de la Jeunesse, des Sports et de Loisirs), un comité de gestion sera créé. Ses membres sont comme suit :


- Ministère de la Jeunesse, Sports et Loisirs
- PNC
- JICA et/ou Ambassade du Japon en RDC
- Autres membres (à déterminer ultérieurement)

Le comité de gestion établira le programme d'utilisation annuel, décidera du plan d'organisation des compétitions et élaborera les règlements de politique de gestion et d'utilisation, etc. du centre. Les détails de la gestion du centre seront déterminés par le comité de gestion.

5. Maintenance du Centre

Le Service de Gestion et d'Entretien des Infrastructures de la PNC sera chargé de la maintenance du centre avec la Direction d'Infrastructure du Ministère de la Jeunesse, des Sports et de Loisirs.

Les coûts de maintenance du centre pourront être assurés par de divers frais perçus de leurs utilisateurs.



Dispositions à Prendre par Chaque Gouvernement

Principales Mesures à Prendre par le Pays Bénéficiaire

1. Avant l'appel d'offres

NO	Elément	Délai	Responsable
1	Déplacer et/ou démolir les installations existantes dans le site du Projet	Plutôt possible après l'A/D	PNC
2	Ouvrir le compte bancaire (Arrangement Bancaire (A/B))	Dans un délai d'un mois après l'A/D	Banque Centrale du Congo
3	Assurer la disponibilité des terrains : 1) Espace d'installations provisoires pour les travaux et des aires de stockage des matériaux, près de la zone du Projet. 2) Site de dépôt près de la zone du Projet	Avant l'avis de l'appel d'offres	PNC
4	Obtenir l'autorisation de dragage, les permis d'urbanisme, de zonage, de construction et d'utilisation des sites en dehors du site du Projet.	Avant les travaux	PNC
5	Déblayer, niveler et défricher les sites du Projet en cas de besoin :	Avant les travaux	PNC
6	Elaborer le document et obtenir l'autorisation de plan du Projet conformément au Code de Construction et à la Planification urbaine de la ville de Kinshasa de la RDC.	Dans un délai d'un mois avant l'appel d'offre	PNC
7	Elaborer le document d'EIE et obtenir l'autorisation de l'EIE en RDC en cas de nécessité dans le Projet	Dans un délai d'un mois avant l'appel d'offre	PNC

[Signature]

[Signature]

[Signature]

2. Pendant la mise en œuvre du Projet

NO	Élément	Délai	Responsable
1	Prise en charge des commissions de la banque japonaise pour les services sur la base de l'A/B		
	1) Commission de notification de l'A/P	Dans un délai d'un mois après la signature du contrat	Banque Centrale du Congo
	2) Commission de paiement sur l'A/P	Chaque paiement	Banque Centrale du Congo
2	Mise à disposition des aires de construction (bureau pour le contractant, hangar, aires de stockage provisoires, aires de fabrication de blocs, site de dépôt, etc.)	Avant le commencement des travaux	PNC
3	Mise à disposition d'un bureau, d'une conduite d'eau, de l'électricité ainsi que prise en charge de frais mensuels à cet effet pour le consultant	Pendant la mise en œuvre du Projet	PNC
4	Assurer une voie d'accès pour les ouvriers de chantier et les personnes concernées		PNC
5	Assurer le déchargement et le dédouanement rapides au port de débarquement dans le pays bénéficiaire	Pendant la mise en œuvre du Projet	PNC
6	Accorder aux personnes physiques japonaises et /ou aux personnes physiques des pays tiers dont les services seront nécessaires à la fourniture des produits et des services sous le contrat vérifié les facilités nécessaires pour leurs entrées et séjours au pays bénéficiaire afin qu'ils puissent effectuer leur travail	Pendant la mise en œuvre du Projet	Ministère des Sports, PNC
7	Assurer que des droits de douane, les taxes intérieures et autres charges fiscales qui pourraient être imposés dans le pays bénéficiaire en ce qui concerne l'achat des produits et/ou les services seront exonérés. De tels droits de douane, des taxes intérieures et autres charges fiscales mentionnés ci-dessus y compris la TVA, la taxe commerciale, l'impôt sur le revenu et l'impôt sur les sociétés japonaises, la taxe aux résidents, la taxe sur les carburants, mais sans y limités, qui pourraient être imposés dans le pays bénéficiaire à l'égard de l'achat des produits et/ou les services en vertu du contrat vérifié seront exonérés.	Pendant la mise en œuvre du Projet	Banque Centrale du Congo
8	Supporter tous les frais nécessaires à la mise en œuvre du Projet, à part les frais qui sont couverts par le Don	Pendant la mise en œuvre du Projet	Ministère de la Jeunesse, des Sports et de Loisirs, PNC

322




3. Après le Projet

NO	Elément	Délai	Responsable
1	Utiliser et entretenir correctement et efficacement les installations construites et les équipements fournis dans le cadre de la coopération non remboursable. 1) Allocation des coûts de maintenance 2) Structure d'exploitation et de maintenance 3) Vérification régulière / Inspection périodique	Après l'achèvement des travaux	Ministère de la Jeunesse, des Sports et de Loisirs, PNC

(A/B : Arrangement Bancaire, A/P : Autorisation de Paiement, N/A : Non Applicable)



4-2. 協議議事録 (概略説明調査時)

COMPTE RENDU DES DISCUSSIONS
relatives à
L'ETUDE PREPARATOIRE POUR
PROJET DE CONSTRUCTION DU CENTRE SPORTIF DE JUDO
EN REPUBLIQUE DEMOCRATIQUE DU CONGO
(Explications sur l'Avant-projet du Rapport de l'Etude Préparatoire)

L'an deux mille dix-sept, le vingt-huitième jour du mois de novembre, il s'est tenu dans la salle de réunion du Commissariat Général de la Police Nationale Congolaise, la rencontre mixte entre l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (désignée ci-après par « la JICA ») et la Police Nationale Congolaise (désignée ci-après par « la PNC ») avec le concours du ministère des sports et loisirs. Celle-ci s'inscrit à la suite des discussions tenues le 3 février 2017 entre la JICA, la Police Nationale Congolaise et le ministère de la jeunesse, sports et loisirs.

Sur ce, suivant la requête du gouvernement de la République Démocratique du Congo (désignée ci-après par « la partie RDC ») formulée en date du 27 octobre 2017, la JICA a dépêché une mission d'étude conduite par M. Naoki MINE, Directeur adjoint de la Division 2, Groupe de Développement urbain et régional, Département de consolidation de la paix de la JICA (ci-après désignée par la « Mission »), du 26 novembre au 2 décembre 2017.

A l'issue de ces discussions, les deux parties ont convenu des points décrits en Appendice.

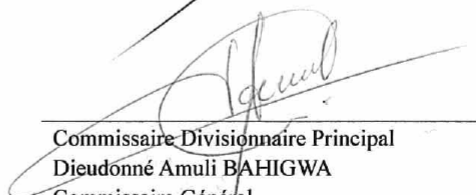
Fait à Kinshasa, le 29 novembre 2017



M. Naoki MINE
Chef de la Mission
Agence Japonaise de Coopération
Internationale
Japon



M. Barthelemy OKITO OLEKA
Secrétaire Général
Ministère des Sports et Loisirs
République Démocratique du Congo



Commissaire Divisionnaire Principal
Dieudonné Amuli BAHIGWA
Commissaire Général
Police Nationale Congolaise
République Démocratique du Congo

APPENDICE

1. Objectif du Projet

Le présent Projet a pour objectif de promouvoir les sports, l'encadrement et le développement sain de la jeunesse et de contribuer à la consolidation de la paix en RDC à travers la construction d'un centre sportif de judo et la fourniture des équipements, sur la base du compte rendu des discussions signé le 3 février 2017.

2. Site du Projet

Les deux parties ont confirmé que, sur la base du compte rendu des discussions signé le 3 février 2017, le site du Projet est tel qu'indiqué dans l'Annexe 1. En outre, la partie RDC s'engage à déplacer et/ou à démolir les installations existantes sur le site dès la signature de l'Accord de Don (avant l'approbation des dossiers d'appel d'offres, fin août 2018 au plus tard dans l'Annexe 4).

3. Contenu de l'Avant-projet du Rapport

Suivant les explications de l'avant-projet du rapport par la Mission, les deux parties ont convenu de son contenu.

4. Mode d'exécution pour la construction et l'utilisation

Les deux parties ont confirmé le mode d'exécution pour la construction et l'utilisation comme suite.

4-1-1 Période de construction

Maître d'œuvre : PNC

Comité de supervision de construction du centre : Ministère des sports et loisirs et PNC

Observateur : Ambassade du Japon et JICA

4-1-2 Période de l'utilisation

- Agence responsable de l'utilisation et de la maintenance des infrastructures : PNC

- Comité de supervision d'utilisation du centre : Ministère des sports et loisirs et PNC

- Comité de gestion (quotidienne) du centre : PNC

- Observateur : Ambassade du Japon et JICA

4-1-3 Utilisation durable du Centre Sportif de Judo

Les deux parties reconnaissent l'importance des éléments ci-après pour l'utilisation durable du centre après sa mise en service :

- a) Planifier et organiser les compétitions, les événements, etc. en collaborant également avec le secteur privé afin d'améliorer l'utilisation du centre ;
- b) Effectuer régulièrement la maintenance des installations et équipements du centre et assurer leur gestion rationnelle (ex : tatami pour judo et tapis pour arts martiaux) au moyen d'un cahier d'enregistrement de prêt, lorsqu'ils sont prêtés aux utilisateurs (ex : fédération nationale congolaise de judo, les clubs sportifs et la population) ;
- c) Percevoir les frais d'utilisation appropriés par les utilisateurs du centre pour les affecter 1) à la maintenance des installations et des équipements, aussi 2) probablement à l'élargissement et 3) au renouvellement des équipements ;
- d) La dépense quelconque du revenu issu du centre devra être préalablement approuvée par le comité de supervision d'utilisation du centre.

5. Estimation du Coût

Les deux parties ont confirmé que l'estimation du coût incluant le fond réservé en cas d'imprévu indiquée dans l'avant-projet du rapport de l'étude préparatoire est donnée à titre provisoire, et sera examinée par le Gouvernement du Japon pour son approbation. Le fond

réservé pour les imprévus pourrait couvrir le coût supplémentaire dû aux catastrophes naturelles, autres cas de force majeur, etc.

6. Confidentialité du Coût Estimatif et des Spécifications Techniques

Les deux parties ont convenu que le coût estimatif et les spécifications techniques indiqués dans l'Avant-projet du Rapport ne doivent en aucun cas être reproduits ni divulgués à une tierce partie, et ce jusqu'à la conclusion des tous les contrats du Projet.

7. Procédures et Principe de Base de la Coopération Financière Non Remboursable du Japon

La partie RDC entérine les procédures et le principe de base de la coopération financière non remboursable du Japon décrits dans l'Annexe 2. A cet effet, elle s'engage à prendre les mesures nécessaires conformément à ces procédures.

8. Calendrier de Mise en Œuvre du Projet

La Mission a présenté à la partie RDC le calendrier prévu de mise en œuvre du Projet indiqué dans l'Annexe 3.

9. Résultats Attendus et Indicateurs

Les deux parties ont convenu des indicateurs clés pour mesurer les résultats attendus (cf. tableau ci-dessous). La partie RDC est responsable d'atteindre l'objectif à l'horizon 2023 et de suivre son avancement sur la base des indicateurs ci-dessous :

[Effet Quantitatif]

- Nombre d'utilisateurs du centre : 29 500 personnes / an
- Nombre de tenues de compétitions dans le centre : 10 fois / an

[Effet Qualitatif]

- A travers l'utilisation du présent Centre Sportif de Judo, la promotion des sports, l'encadrement et le développement sain de la jeunesse seront accélérés en RDC afin de contribuer à la consolidation de la paix dans le pays. La relation de confiance entre les policiers et la population sera établie en pratiquant les sports ensemble.



10. Assistance Techniques (« Composante Soft » du Projet)

Compte tenu de l'exploitation et la maintenance durable des infrastructures et services accordés par le Projet, l'assistance technique suivante ((1) appui au comité de gestion du centre, (2) appui à l'élaboration des manuels de maintenance et d'exploitation et (3) appui à l'élaboration d'un plan d'exploitation du centre) sera prévue dans le Projet. La partie RDC a confirmé la mise en place du nombre nécessaire d'homologues, appropriés et compétents dans l'Annexe 4 pour bénéficier de l'assistance technique décrites dans l'avant-projet du rapport.

11. Mesures à prendre par chaque gouvernement

Les deux parties ont convenu des mesures à prendre décrites dans l'Annexe 4. S'agissant de l'exonération des droits de douane, des taxes intérieures et d'autres charges fiscales, les deux parties ont confirmé que de tels droits de douane, taxes intérieures et d'autres charges fiscales y compris la TVA, les taxes commerciales, les impôts sur le revenu et sur les sociétés, seront précisés dans le dossier d'appel d'offres préparé par la PNC lors de l'étape de mise en œuvre du Projet.

La partie RDC s'engage à prendre les mesures et à assurer la coordination nécessaire y compris l'allocation de fonds budgétaires, conditions préalables à la mise en œuvre du Projet. Il est également convenu que le coût est donné à titre indicatif (c.-à-d., à l'étape de la

conception sommaire). Un coût plus précis sera calculé lors de l'étape de la conception détaillée. Les deux parties ont confirmé que le contenu de l'Annexe 4 constituera l'un des annexes de l'Accord de Don.

12. Suivi au cours de la mise en œuvre du Projet

L'avancement du Projet sera suivi par l'organisme d'exécution au moyen du Rapport de Suivi du Projet (RSP) présenté dans l'Annexe 5. Le calendrier de soumission du RSP est indiqué dans l'Annexe 4.

13. Evaluation Ex Post

En principe, la JICA effectuera une évaluation ex post, trois (3) ans après l'achèvement du Projet conformément aux 5 critères d'évaluation (Pertinence, Efficacité, Efficience, Effets, Durabilité). Le résultat de l'évaluation sera publié et la partie RDC s'engage à apporter le soutien nécessaire à la collecte des données.

14. Calendrier de l'Etude

La JICA finalisera le rapport de l'étude préparatoire conformément aux points convenus et l'enverra à la partie RDC vers le mois de mars 2018.

15. Considérations Environnementales et Sociales

15-1 Directives environnementales et Catégorie Environnementale

La Mission a expliqué que les « Directives relatives aux Considérations Environnementales et Sociales de la JICA (Avril 2010) » (ci-après dénommées « les Directives ») sont applicables au Projet. Le Projet est classé « C », puisque ses éventuels impacts environnementaux ne semblent pas être importants selon les Directives.

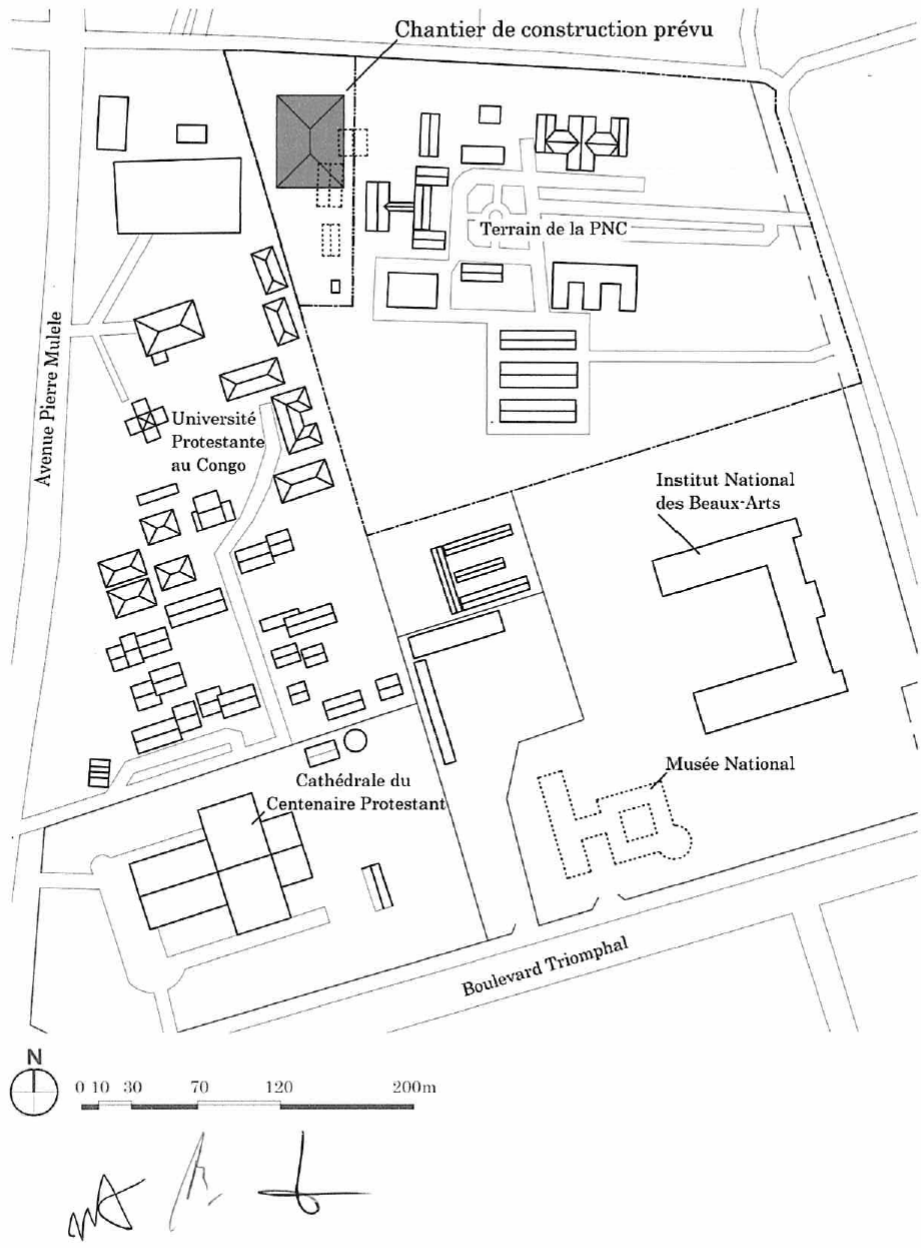
16. Liste des examens des équipements demandés et image du Centre Sportif de Judo

La liste des examens des équipements demandés (provisoire) et l'image du Centre Sportif de Judo (provisoire) sont présentées dans l'Annexe 6.

The image shows three handwritten signatures or initials in black ink. From left to right: a stylized signature, a signature that appears to start with 'A', and a signature that appears to be 'L'.

- Annexe 1 Site du Projet
- Annexe 2 Procédures et principe de base de la coopération financière non remboursable du Japon
- Annexe 3 Calendrier de mise en œuvre du Projet
- Annexe 4 Dispositions à prendre par la partie congolaise et la partie japonaise
- Annexe 5 Rapport de suivi du projet
- Annexe 6 Liste des examens des équipements demandés (provisoire) et image du Centre Sportif de Judo (provisoire)





Annexe 2 : Procédures et principe de base de la coopération financière non remboursable du Japon

Schéma de procédure de la Coopération financière non remboursable du Japon

Etape	Déroulement des Travaux	Gouvernement	Gouvernement	JICA	Consultant	Entrepreneur	Autres
		bénéficiaire	Japonais				
Demande	<p>Demande</p> <p>Examen préliminaire du Projet</p> <p>Evaluation de la requête</p> <p>Etude d'identification du Projet(*)</p> <p>*Selon la nécessité</p>	✓					
Formulation et Préparation du Projet	<p>Etude préparatoire</p> <p>Etude préliminaire(*)</p> <p>Elaboration du concept de base</p> <p>Explication du projet de rapport de l'étude</p> <p>Rapport final</p> <p>Etude sur le terrain, examen et rapport</p> <p>Sélection des Consultants sur la base des propositions, et conclusion du contrat</p> <p>Etude sur le terrain, examen et rapport</p> <p>*Selon la nécessité</p>	✓	✓	✓			
		✓	✓	✓	✓		
		✓	✓	✓	✓		
Evaluation et Approbation	<p>Evaluation du Projet</p> <p>Consultations interministérielles</p> <p>Soumission de Note préliminaire</p> <p>Approbation par le Cabinet</p>		✓	✓			
Mise en oeuvre	<p>E/N et A/D</p> <p>Arrangement Bancaire</p> <p>Contrat de Consultant</p> <p>Conception détaillée et Document d'AO/Offres</p> <p>Soumission et Evaluation</p> <p>Contrat Achat/Construction</p> <p>Construction</p> <p>Exploitation</p> <p>Etude post évaluation</p> <p>(E/N: Echange de notes) (A/D: Accord de Don) (A/P: Autorisation de paiement)</p>	✓	✓	✓			
		✓					✓
		✓		✓	✓		
		✓	✓				
		✓		✓	✓	✓	
		✓		✓	✓	✓	
		✓		✓	✓	✓	
		✓		✓			
Evaluation et Suivi	<p>Evaluation ex post</p> <p>Suivi</p>	✓	✓	✓			

Dispositions à Prendre par Chaque Gouvernement

Principales Mesures à Prendre par le Pays Bénéficiaire

1. Avant l'appel d'offres

N°	Elément	Délai	Responsable
1	Déplacer et/ou démolir les installations et les équipements existantes sur le site du Projet	Plutôt possible après l'A/D (avant l'approbation des dossiers d'appel d'offres, fin août 2018 au plus tard)	PNC
2	Ouvrir le compte bancaire (Arrangement Bancaire (A/B))	Dans un délai d'un mois après l'A/D	Banque Centrale du Congo
3	Assurer la disponibilité des terrains : 1) Espace d'installations provisoires pour les travaux et des aires de stockage des matériaux, près de la zone du Projet. 2) Site de dépôt près de la zone du Projet	Avant l'annonce d'avis de l'appel d'offres	PNC
4	Obtenir le permis de construction	Avant les travaux	PNC
5	Déblayer, niveler et défricher le site du Projet en cas de besoin :	Avant les travaux	PNC
6	Soumettre à l'ACE 1) Terme de référence et 2) Plan de gestion environnemental et social	Dans un délai d'un mois avant l'appel d'offre	PNC
7	Création d'un comité de supervision de construction du centre	Avant le début des travaux de construction	Ministère des sports et loisirs, PNC

2. Pendant la mise en œuvre du Projet

N°	Elément	Délai	Responsable
1	Prise en charge des commissions de la banque japonaise pour les services sur la base de l'A/B		
	1) Commission de notification de l'A/P	Dans un délai d'un mois après la signature du contrat	Banque Centrale du Congo
	2) Commission de paiement sur l'A/P	Chaque paiement	Banque Centrale du Congo
2	Mise à disposition des aires de construction (bureau pour le contractant, hangar, aires de stockage provisoires, aires de fabrication de blocs, site de dépôt, etc.)	Avant le commencement des travaux	PNC
3	Mise à disposition d'un bureau, d'une conduite d'eau, de l'électricité ainsi que prise en charge de frais mensuels à cet effet pour le consultant	Pendant la mise en œuvre du Projet	PNC
4	Assurer une voie d'accès pour les ouvriers de chantier et les personnes concernées		PNC
5	Assurer le déchargement et le dédouanement rapides au port de débarquement dans le pays bénéficiaire	Pendant la mise en œuvre du Projet	PNC
6	Accorder aux personnes physiques japonaises et /ou aux personnes physiques des pays tiers dont les services seront nécessaires à la fourniture des produits et des services sous le contrat vérifié les facilités nécessaires pour leurs entrées et séjours au pays bénéficiaire afin qu'ils puissent effectuer leur travail	Pendant la mise en œuvre du Projet	Ministère de l'intérieur et sécurité, PNC
7	Assurer l'exonération de tous droits sur les produits et services imposables au bénéfice du Projet (droits des douanes, taxes intérieures et autres charges fiscales)	Pendant la mise en œuvre du Projet	Ministère des finances, PNC
8	Travaux de câblage des équipements en dehors des travaux pris en charge par la partie japonaise, végétalisation (y compris le gazonnage de 3 600 m ²)	Pendant la mise en œuvre du Projet	PNC
9	Fourniture des mobiliers et meubles nécessaires pour fonctionnement du Centre	Pendant la mise en œuvre du Projet	PNC
10	Supporter tous les frais nécessaires à la mise en œuvre du Projet, à part les frais qui sont couverts par le Don	Pendant la mise en œuvre du Projet	Ministère de l'intérieur et sécurité
11	Création d'un comité de supervision d'utilisation du centre	En janvier 2020	Ministère des sports et loisirs, PNC
12	Mise en place du nombre nécessaire d'homologues, appropriés et compétents d pour bénéficier de l'assistance technique	En janvier 2020	PNC

3. Après le Projet

N°	Elément	Délai	Responsable
1	1) Utiliser et entretenir correctement et efficacement les installations construites et les équipements fournis dans le cadre de la coopération non remboursable en allouant le fonds nécessaire et en mettant en place : a) une structure d'exploitation, de vérification et d'inspection b) une structure devant fixer les grandes orientations et évaluer le travail du comité de gestion du centre	Après l'achèvement des travaux	a) PNC b) Ministère des sports et loisirs et PNC

(A/B : Arrangement Bancaire, A/P : Autorisation de Paiement, N/A : Non Applicable)

Rapport de Suivi du Projet

Nom de projet
Accord de Don No. XXXXXXXX
 Mois 20XX

Information sur l'organisation

Signataire de l'A/D (Bénéficiaire)	Personne en charge (Service) _____ Coordonnées _____ Adresse : _____ Téléphone /FAX : _____ Email : _____
Organisme d'exécution	Personne en charge (Service) _____ Coordonnées _____ Adresse : _____ Téléphone /FAX : _____ Email : _____
Ministère compétent	Personne en charge (Service) _____ Coordonnées _____ Adresse : _____ Téléphone /FAX : _____ Email : _____

Informations générales :

Titre du projet	
E/N	Date de signature: Durée:
A/D	Date de signature: Durée:
Source de financement	Gouvernement du Japon: Montant n'excédant pas JPY _____ millions Gouvernement du (_____): _____

Handwritten signatures and initials in black ink, including a large signature and some initials to the left.

1 : Description du projet

1-1 Objectif du Projet

--

1-2 Fondement du Projet

- Objectif global auquel le projet contribue (politiques et stratégies nationales /régionales/sectorielles)
- Situation des groupes ciblés par le Projet

--

1-3 indicateurs pour les mesures pour « l'Efficacité »

Indicateurs quantitatifs relatifs aux mesures d'atténuation pour les objectifs du Projet		
Indicateurs	Initial (Année)	Cible (Année)
Indicateurs quantitatifs relatifs aux mesures d'atténuation pour les objectifs du Projet		

2 : Détails du projet

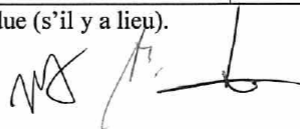
2-1 Emplacement du projet

Composants	Initiale <i>(proposé lors de la conception générale)</i>	Actuelle
1.		

2-2 Etendue des travaux

Composants	Initiale* <i>(proposé lors de la conception générale)</i>	Actuelle*
1.		

Raisons de modification de l'étendue (s'il y a lieu).



(RSP)

2-3 Calendrier d'exécution

Désignation	Initial		Actuel
	<i>Projet de Conception Générale</i>	<i>(Au moment de signature de l'A/D)</i>	

Raisons de modification de calendrier, et leurs répercussions sur le projet (s'il y a lieu)

--

2-4 Mesures à prendre par le Bénéficiaire

2-3-1 Avancement d'exécution des obligations spécifiques

Voir la pièce jointe 2.

2-3-2 Activités

Voir la pièce jointe 3.

2-3-3 Rapport sur le "Procès-Verbal"(PV)

Voir la pièce jointe 11.

2-5 Coût du projet

2-5-1 Coût couvert par le Don (confidentiel jusqu'à l'appel d'offres)

Composantes			Coût (Millions de yen japonais)	
	Initial <i>(proposé lors de la conception générale)</i>	Actuel <i>(en cas de modification)</i>	Initial ^{1),2)} <i>(proposé lors de la conception générale)</i>	Actuel
1.				
Total				

Note: 1) Date d'estimation :
2) Taux de change : 1 Dollar US = Yens japonais

2-5-2 Coût pris en charge par le Bénéficiaire

Composantes		Coût (1 000 FCFA)		
	Initial <i>(proposé lors de la conception générale)</i>	Actuel <i>(en cas de modification)</i>	Initial ^{1),2)} <i>(proposé lors de la conception générale)</i>	Actuel
	1.			
Total				

Note : 1) Date d'estimation :

2) Taux de change : 1 Dollar US =

S'il y a un écart important entre le montant initialement prévu et le montant actuel, indiquez la (les) raison(s), les mesures prises (si elles sont prises).

<i>(RSP)</i>

2-6 Organisme d'Exécution

- Son rôle, situation financière, capacité, recouvrement des coûts etc.,
- Organigramme incluant le service en charge de l'exécution et le nombre d'employés

<p>Initial : <i>(au moment de la conception générale)</i></p> <p>Nom :</p> <p>Rôle :</p> <p>Situation financière :</p> <p>Structure institutionnelle et organisationnelle (organigramme) :</p> <p>Ressources humaines (nombre de l'effectif et ses compétences) :</p>
<p>Actuel <i>(RSP)</i></p>

2-7 Impacts environnemental et social

- Les résultats du suivi environnemental sont tels qu'ils sont présentés en Pièce Jointe 5 conformément au Calendrier 4 de l'A/D.
- Les résultats du suivi social sont tels qu'ils sont présentés en Pièce Jointe 5 conformément au Calendrier 4 de l'A/D.
- L'information sur les résultats divulgués du suivi environnemental et social aux parties prenantes locales, le cas échéant.

3: Exploitation et Maintenance (E&M)

- 3-1 Système structurelle pour l'E&M
- Plan d'exploitation et de maintenance (le nombre et la compétence du personnel de la direction/section responsable, la disponibilité de mode d'emploi et de manuels, la disponibilité de pièces de rechange, etc.)

Initial : (au moment de la conception générale)
Actuel : (RSP)

- 3-2 Coût et budget de l'E&M
- Le coût annuel de l'E&M pendant l'exécution du projet, le coût connu jusqu'aujourd'hui, et le budget annuel pour l'E&M

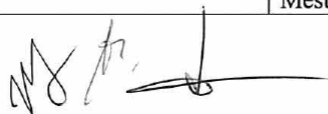
Initial : (au moment de la conception générale)
Actuel : (RSP)

4: Précautions (Gestion de Risques) et Mesures d'Atténuation

- Les risques et les problèmes, si cela existe, qui pourraient affecter la mise en œuvre, les résultats et la durabilité du projet, et les mesures à prendre sont les suivantes :
- Mesures d'atténuation à prendre contre les risques potentiels

Evaluation des risques potentiels (au moment de la conception générale)

Problèmes au départ et mesures : (PV)	
risques potentiels	Evaluation
Risques potentiels du projet	Evaluation
1. (Description du risque)	Probabilité : Elevé/Moyenne/Bas
	Impact : Elevé/Moyenne/Bas
	Analyses de probabilité et d'impact :
	Mesures d'atténuation :

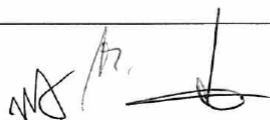


	Action durant la mise en œuvre :
	Plan de contingence (éventuellement) :
2. (Description du risque)	Probabilité : Elevé/Moyenne/Bas
	Impact : Elevé/Moyenne/Bas
	Analyses de probabilité et d'impact :
	Mesures d'atténuation :
	Action durant la mise en œuvre :
	Plan pour les imprévus (éventuellement) :
3. (Description du risque)	Probabilité : Elevé/Moyenne/Bas
	Impact : Elevé/Moyenne/Bas
	Analyses de probabilité et d'impact :
	Mesures d'atténuation :
	Action durant la mise en œuvre :
	Plan pour les imprévus (éventuellement) :
Problèmes actuels et mesures prises	
(RSP)	

5 : Evaluation lors de l'achèvement du Project et plan de suivi

5-1 Evaluation générale

Décrivez votre évaluation générale sur le projet



5-2 Leçons tirées et recommandations

Veillez décrire les leçons tirées de l'expérience du projet, qui pourraient être utilisées dans le cadre de l'assistance future ou des projets similaires, et des recommandations qui pourraient être utiles pour réaliser les effets et l'impact attendus du projet, et pour assurer sa durabilité.

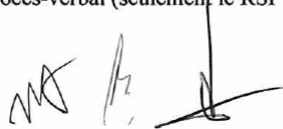
5-3 Plan de suivi relatif aux indicateurs pour la post-évaluation

Veillez décrire les méthodes de suivi, la (les) section(s) ou le (les) département(s) en charge du suivi, la fréquence, et la durée du suivi des indicateurs mentionnés à l'alinéa 1-3.

Three handwritten signatures in black ink are located below the empty box for section 5-3. The signatures are stylized and appear to be initials or names.

Pièces jointes

1. Carte de localisation du Projet
2. Obligations spécifiques du Bénéficiaire qui ne seront pas couvertes par le Don
3. Rapport mensuel soumis par le Consultant
 - Appendix - Photocopie du Rapport d'Avancement de Contractant (s'il y en a)
 - Liste des membres du Consultant
 - Liste des principaux personnels du Contractant
4. Check-list pour le Contrat (y compris le document concernant l'amendement du contrat/Accord et le calendrier de paiement)
5. Formulaire du suivi environnemental/Formulaire du suivi social
6. Fiche de suivi sur les prix des matériels spécifiés (Trimestriel)
 - Rapport sur la proportion des approvisionnements (pays bénéficiaire, Japon et pays tiers)
(seulement le RSP final)
7. Photos (en format JPEG sous CD-ROM) (seulement le RSP final)
8. Liste des équipements (seulement le RSP final)
10. Plan de conception (seulement le RSP final)
11. Document du procès-verbal (seulement le RSP final)

Handwritten signatures and initials in black ink, including a large signature on the right and several smaller initials on the left.

Fiche de suivi sur les prix des matériels indiqués

1. Conditions initiales (Confirmées)

Désignation des matériels indiqués	Volume initial A	Prix unitaire initial (€) B	Prix total initial C=A×B	1% du prix contracté D	Condition de paiement	
					Prix (Baissé) E=C-D	Prix (Augmenté) F=C+D
1 Désignation 1	●●●	●	●	●	●	●
2 Désignation 2	●●●	●	●	●		
3 Désignation 3						
4 Désignation 4						
5 Désignation 5						

2. Suivi du prix unitaire des matériels indiqués

- (1) Méthode de suivi : ●●
- (2) Résultat d'étude de suivi sur le prix unitaire de chaque matériel indiqué

Désignation des matériels indiqués	1er mois, 2016	2e mois, 2017	3e mois, 2017	4e	5e	6e
1 Désignation 1	●	●	●			
2 Désignation 2						
3 Désignation 3						
4 Désignation 4						
5 Désignation 5						

(3) Résumé de la discussion avec l'Entrepreneur et/ou le Fournisseur (si nécessaire)

-
-


Rapport sur la proportion des achats (pays bénéficiaire, Japon et pays tiers)
(Dépense actuelle respective pour la construction et les équipements)

	Achat intérieur (Pays bénéficiaire) A	Achat étranger (Japon) B	Achat étranger (Pays tiers) C	Total D
Coût de la construction	(A/D%)	(B/D%)	(C/D%)	
Coût de la construction direct	(A/D%)	(B/D%)	(C/D%)	
Autres	(A/D%)	(B/D%)	(C/D%)	
Coût des équipements	(A/D%)	(B/D%)	(C/D%)	
Coût de la conception et de la supervision	(A/D%)	(B/D%)	(C/D%)	
Total	(A/D%)	(B/D%)	(C/D%)	

Handwritten signature and initials

PROVISOIRE

Annexe 6 : Liste des examens des équipements demandés (provisoire)
et image du Centre Sportif de Judo (provisoire)

Tableau : ébauche d'examen des équipements demandés

Numéro de l'équipement demandé	Equipements demandés	Numéro de l'équipement qui est prévu de fournir	Equipement qui est prévu de fournir	Ordre de priorité	Nombre	Jugement	Remarques
1	Tatami de judo	1	Tatami de judo	A	2	o	
2	Chariot de transport de tatami	2	Tatami de judo	A	2	o	Le nom de l'équipement a été modifié.
3	Bordure pour tatami (cadre)	Supprimé		A	-	o	Intégré dans "l'équipement qui est prévu de fournir" No.1
4	Anglo de finition pour tatami	Supprimé		A	-	o	Intégré dans "l'équipement qui est prévu de fournir" No.1
5	Assortiment de panneau d'affichage score / programmeur	3	Timer spécial judo	A	1	o	Le nom de l'équipement a été modifié.
6	Panneau d'affichage score	4	Panneau d'affichage score pour judo	A	2	o	Le nom de l'équipement a été modifié.
7	Balance	5	Balance	A	2	o	
8	Kimono de judo (judogi) (pour enfant/adulte)	6	Judogi pour combat (adulte)	A	2	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		7	Judogi pour combat (enfant)	A	2	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
9	Ceinture de judo pour combat	Supprimé		A	-	o	Intégré dans "l'équipement qui est prévu de fournir" No.6 et No.7
10	Matelas de nage komi	8	Matelas de nage komi	A	4	o	
11	Machine de plaquage ou tackle	9	Machine de plaquage ou tackle	A	4	o	
12	Tatami (tapis) puzzle pour l'entraînement des arts martiaux	10	Tapis de judo (1)	A	1	o	Le nom de l'équipement a été modifié.
13	Accessoires pour les arts martiaux	Supprimé		A	-	o	Intégré dans l'accessoire de "l'équipement qui est prévu de fournir"
14	Tapis de karaté	11	Tapis arts martiaux	A	1	o	Le nom de l'équipement a été modifié.
15	Socle de buts pour basketball	12	Socle de buts pour basket-ball	A	1	o	
16	Panneau d'affichage score (basketball)	13	Compteur de sport	A	1	o	Issu de l'équipement demandé initialement, nom de l'équipement également modifié
		14	Panneau d'affichage score pour les jeux de balle	A	1	o	Issu de l'équipement demandé initialement, nom de l'équipement également modifié
17	Panier de rangement pour ballons (basketball)	Supprimé		C	-	x	
18	Accessoires pour les jeux de balle			A	-	o	Intégré dans l'accessoire de "l'équipement qui est prévu de fournir"
19	Poteaux et antennes de volleyball (agréés par la FIVB)	15	Equipement pour volley-ball	A	1	o	
20	Protection (couverture) de poteau de volleyball (agréée par la FIVB)	Supprimé		A	-	o	Intégré dans "l'équipement qui est prévu de fournir" No.16
21	Chariot de rangement pour poteaux	Supprimé		A	-	o	Intégré dans "l'équipement qui est prévu de fournir" No.15
22	Filet de volleyball (agréé par la FIVB)	Supprimé		A	-	o	Intégré dans "l'équipement qui est prévu de fournir" No.15
23	Panneau d'affichage score (volleyball)	Supprimé		A	-	o	Intégré dans "l'équipement qui est prévu de fournir" No.14 et No.15
24	Panier de rangement pour ballons (volleyball)	Supprimé		C	-	x	
25	Socle de buts pour handball	Supprimé		C	-	x	
26	Panneau d'affichage score (handball)	Supprimé		C	-	x	
27	Panier de rangement pour ballons (handball)	Supprimé		C	-	x	
28	Table pour table de tennis	Supprimé		C	-	x	
29	Escalier de gymnastique	Supprimé		C	-	x	
30	Toiles de sol	18	Toile de sol	B	1	o	
31	Chariot de rangement pour toiles de sol	Supprimé		B	-	o	Intégré dans "l'équipement qui est prévu de fournir" No.17

LEGENDE :
O : Accepté
x : Non disponible

PROVISOIRE

Annexe 6 : Liste des examens des équipements demandés (provisoire) et image du Centre Sportif de Judo (provisoire)

Numéro de l'équipement demandé	Equipements demandés	Numéro de l'équipement qui est prévu de fournir	Equipement qui est prévu de fournir	Ordre de priorité	Nombre	Jugement	Remarques
32	Accessoires pour la salle de sports (gymnase)	17	Podium	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		18	Estrade mobile	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		39	Bibliothèque pour bureau	A	12	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		40	Bureau	A	25	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		41	Lit	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		42	Fauteuil roulant	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		43	Civière	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		44	Planche dorsale	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		45	Armoire pour accessoires	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		46	Chariot	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		47	Étalage	A	8	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		48	Ensemble de meubles	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		49	Systèmes audiovisuels	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		50	Table (1)	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		51	Table (2)	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		52	Table (3)	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		33	Appareils pour renforcer l'endurance cardiopulmonaire	20	Tapis de gymnastique	A	2
21	Tapis roulant			A	4	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
22	Vélo d'exercice			A	4	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
34	Equipements de musculation	23	Ecarté couché	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		24	Chest press	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		25	Machine à ramer	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		26	Abdominal crunch machine	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		27	Banc à lombaire	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		28	Arm curf (pour muscler les bras, notamment les biceps)	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		29	Arm extension (pour fortifier les muscles du bras, notamment les triceps)	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		30	Extension des jambes à la machine	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié

LEGENDE :
O: Accepté
x : Non disponible

PROVISOIRE

Annexe 6 : Liste des examens des équipements demandés (provisoire) et image du Centre Sportif de Judo (provisoire)

Numéro de l'équipement demandé	Equipements demandés	Numéro de l'équipement qui est prévu de fournir	Equipement qui est prévu de fournir	Ordre de priorité	Nombre	Jugement	Remarques
		31	Seated leg curl (Leg curl assis)	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		32	Presse à cuisses (leg press)	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
35	Poils pour renforcer les muscles	33	Power rack (cage à squat)	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		34	Banc ajustable	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		35	Rangement des disques	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		36	Kit haltère	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
		37	Tapis en caoutchouc	A	1	o	-Issu de la division de l'équipement demandé initialement -Le nom de l'équipement a été également modifié
36	Tatami (tapis) puzzle pour arts martiaux pour judo club Centraklin (12m x 7m)	56	Tapis de judo (2)	B	1	o	Le nom de l'équipement a été modifié.
37	Tatami (tapis) puzzle pour arts martiaux pour Stade de Martyrs (10m x 7m)	57	Tapis de judo (3)	B	1	o	Le nom de l'équipement a été modifié.
38	Tatami (tapis) puzzle pour arts martiaux pour Tshangu	Supprimé		C	-	x	
39	Tatami (tapis) puzzle pour arts martiaux pour Lukunga	Supprimé		C	-	x	
40	Tatami (tapis) puzzle pour arts martiaux pour Kin-Ouest	Supprimé		C	-	x	
41	Ascenseur mobile pour maintenance du plafond et d'autres endroits du centre	19	Ascenseur mobile	A	1	o	Le nom de l'équipement a été modifié.
42	Equipement de maintenance des endroits élevés	Supprimé		A	-	o	Intégré dans "l'équipement qui est prévu de fournir" No.19
43	Autres	Supprimé		-	-	x	Supprimé
44	Ordinateur	38	Ordinateur	A	8	o	
45	Panneaux solaires	Supprimé		C	-	x	

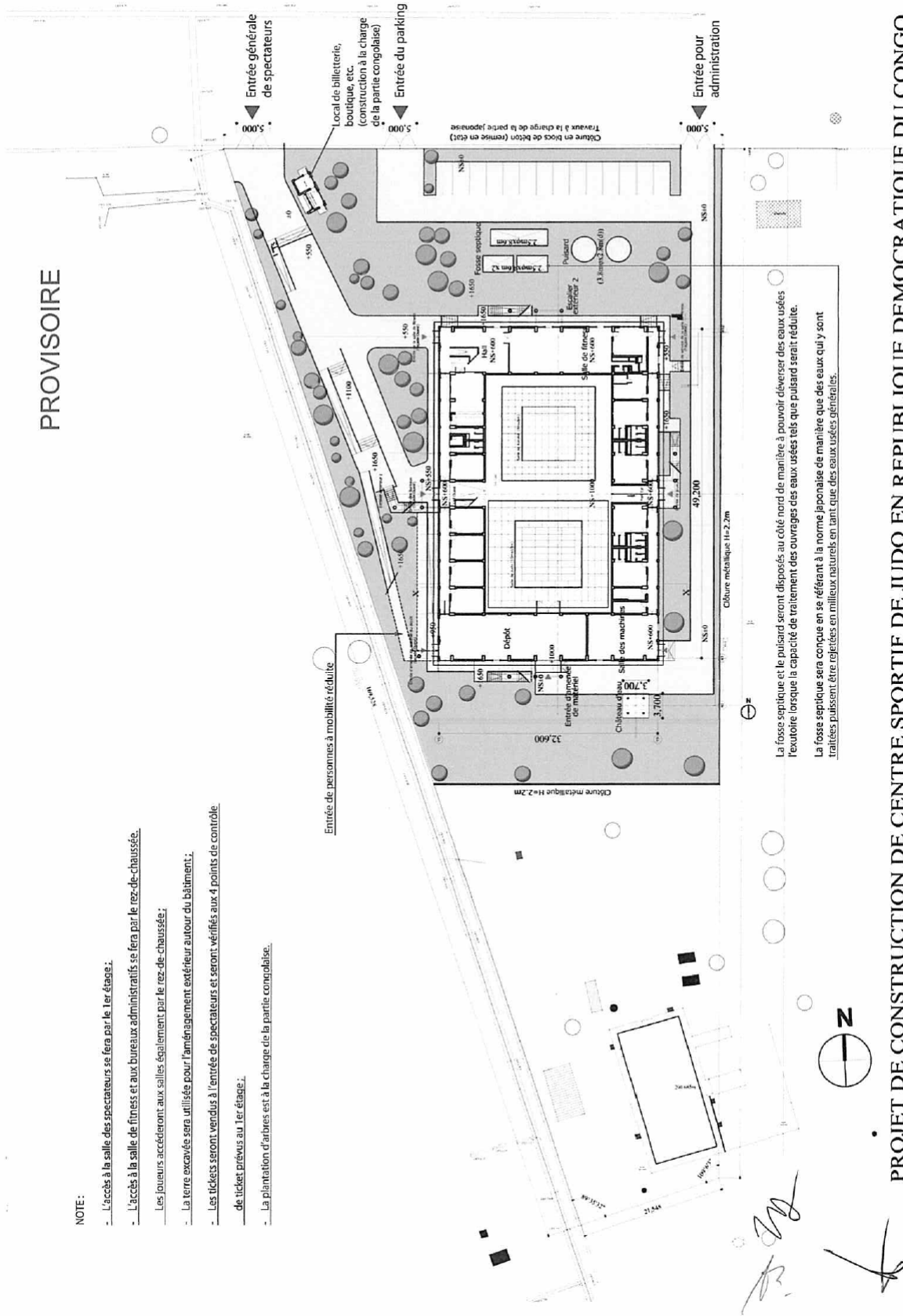
151

LEGENDE :
o : Accepté
x : Non disponible

PROVISOIRE

NOTE:

- L'accès à la salle des spectateurs se fera par le 1er étage.
- L'accès à la salle de fitness et aux bureaux administratifs se fera par le rez-de-chaussée.
- Les joueurs accéderont aux salles également par le rez-de-chaussée;
- La terre excavée sera utilisée pour l'aménagement extérieur autour du bâtiment;
- Les tickets seront vendus à l'entrée de spectateurs et seront vérifiés aux 4 points de contrôle de ticket prévus au 1er étage;
- La plantation d'arbres est à la charge de la partie congolaise.



La fosse septique et le puisard seront disposés au côté nord de manière à pouvoir élever des eaux usées flexibles lorsque la capacité de traitement des ouvrages des eaux usées tels que puisard serait réduite.

La fosse septique sera conçue en se référant à la norme japonaise de manière que des eaux qui y sont traitées puissent être rejetées en milieux naturels en tant que des eaux usées générales.

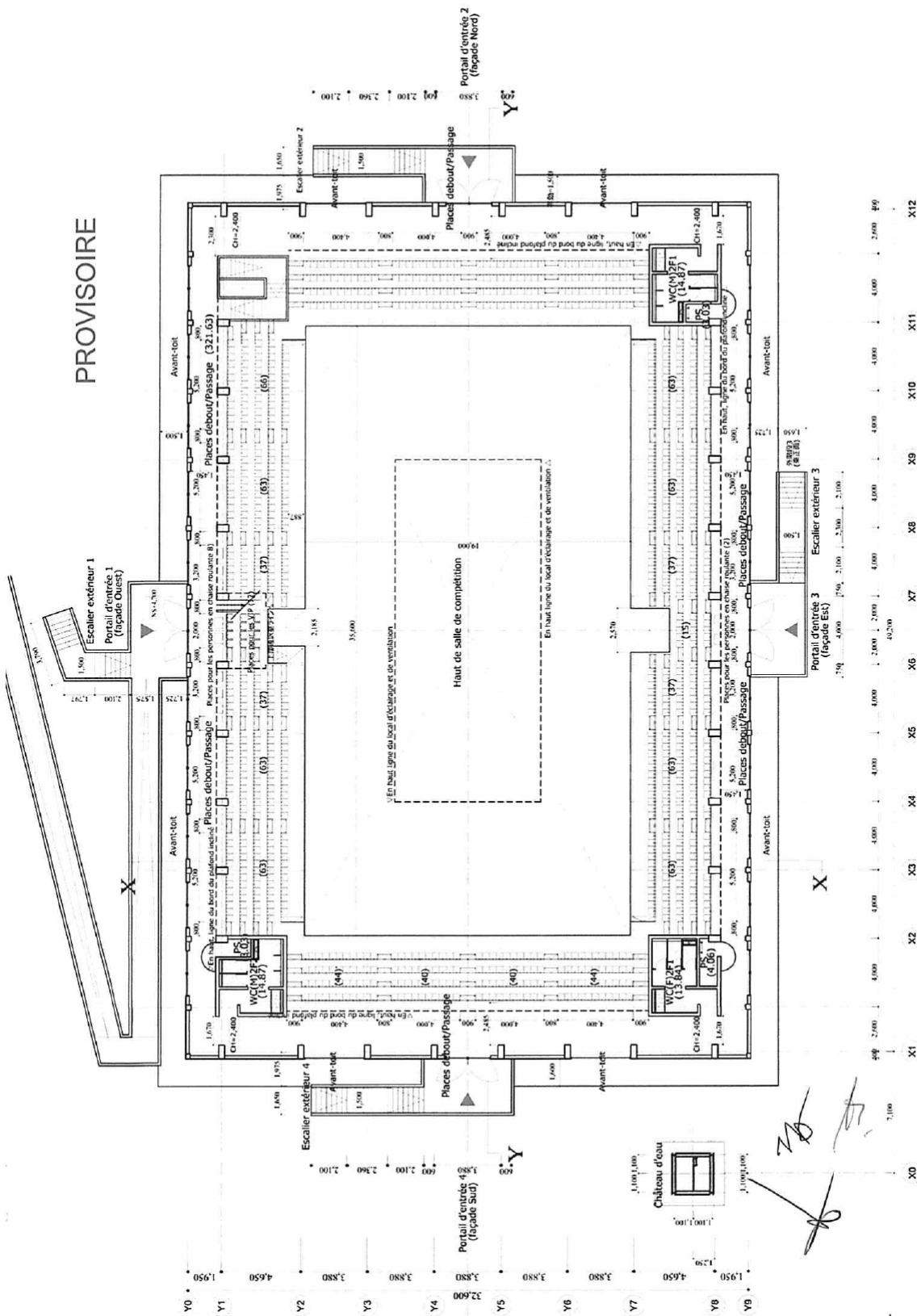
PROJET DE CONSTRUCTION DE CENTRE SPORTIF DE JUDO EN REPUBLIQUE DEMOCRATIQUE DU CONGO

Consortium entre SSC et Nippon Koei

30 Mai 2017

Echelle: 1/500

Plan du Site

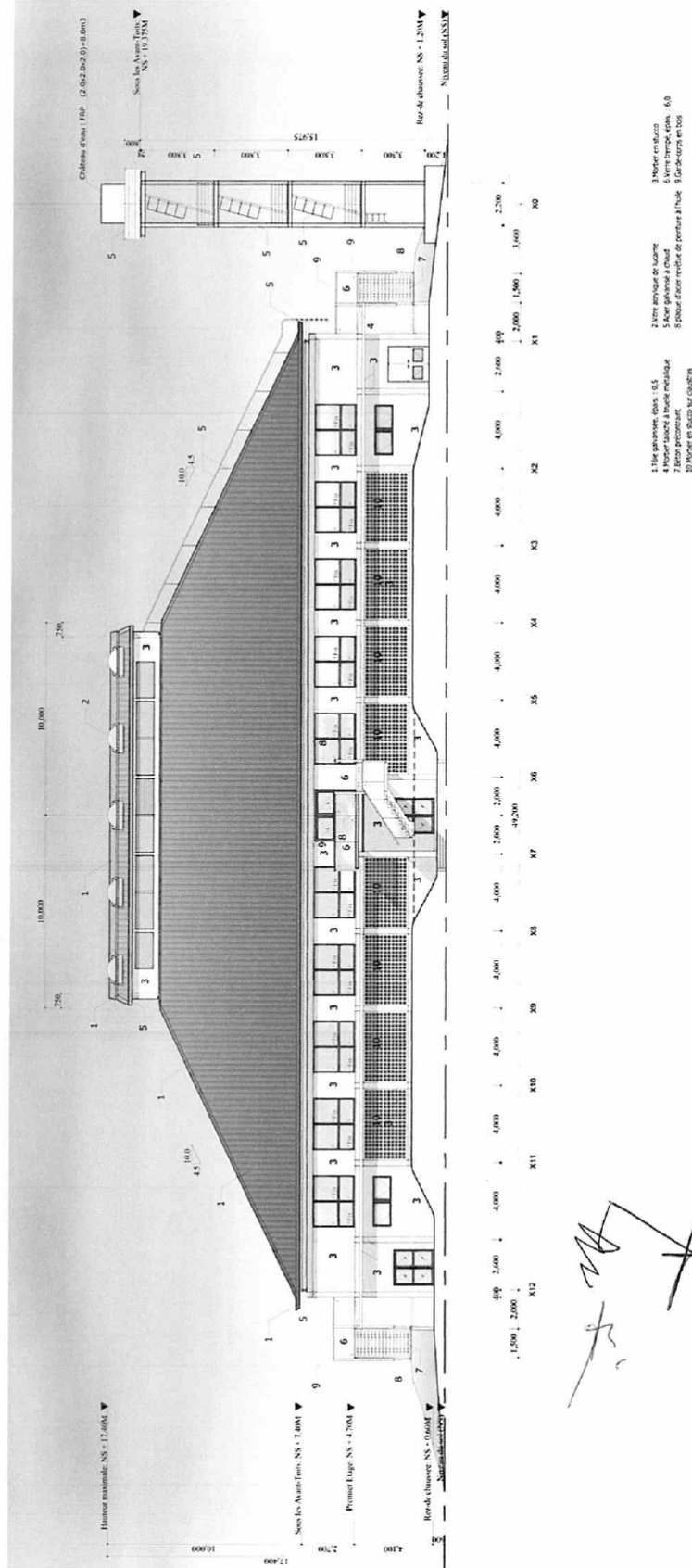


PROJET DE CONSTRUCTION DE CENTRE SPORTIF DE JUDO EN REPUBLIQUE DEMOCRATIQUE DU CONGO

Plan du Premier-etage Echelle: 1/200(A3) 30 Mai 2017

Consortium entre SSC et Nippon Koci

PROVISOIRE



PROJET DE CONSTRUCTION DE CENTRE SPORTIF DE JUDO EN REPUBLIQUE DEMOCRATIQUE DU CONGO
 Consortium entre SSC et Nippon Koei
 Elevation Ouest
 30 Mai 2017

[Handwritten signature]

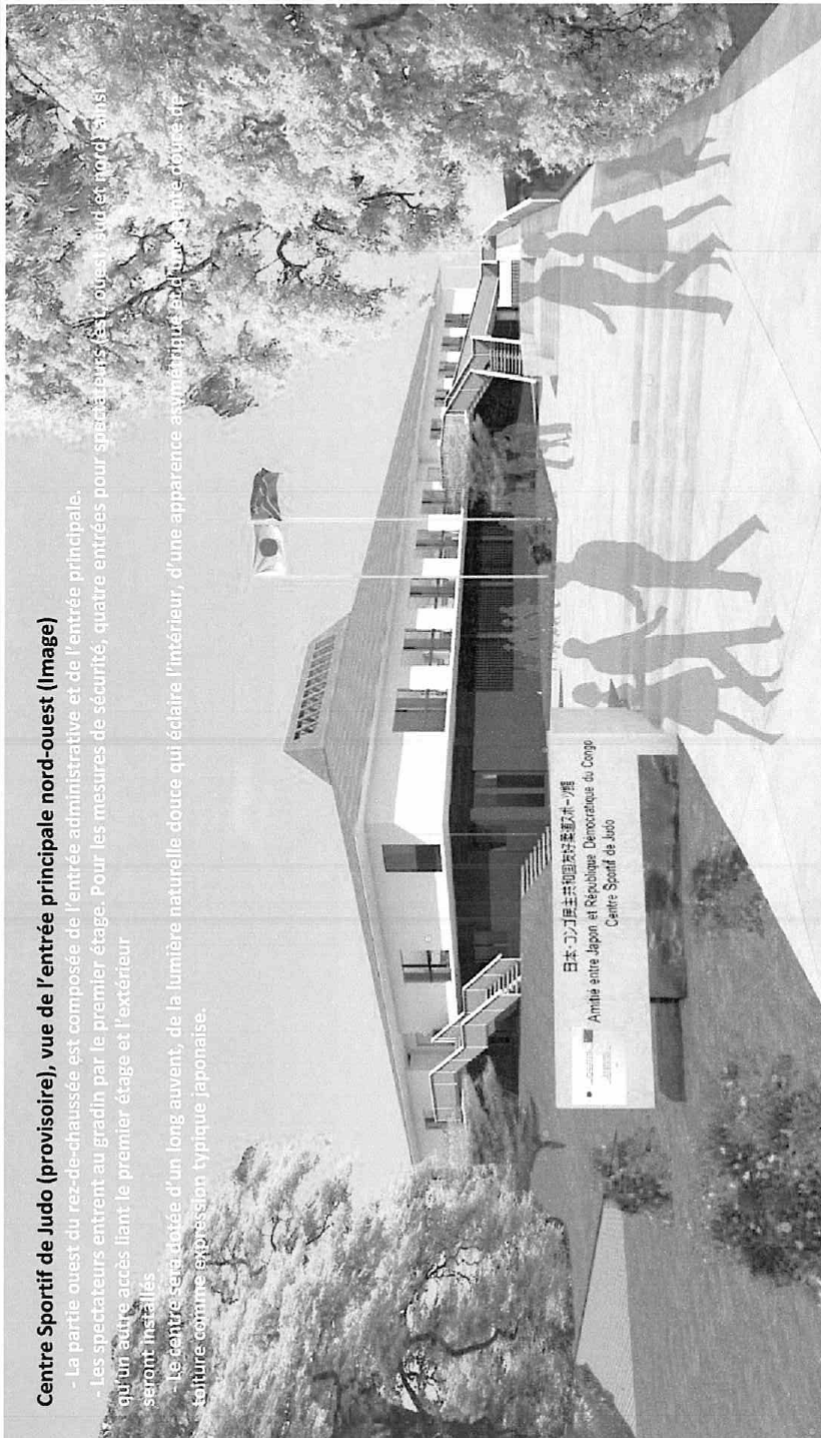
Image du Centre Sportif de Judo construit (provisoire)

Projet de Construction du Centre Sportif de Judo en République Démocratique du Congo

Centre Sportif de Judo (provisoire), vue de l'entrée principale nord-ouest (Image)

- La partie ouest du rez-de-chaussée est composée de l'entrée administrative et de l'entrée principale.
- Les spectateurs entrent au gradin par le premier étage. Pour les mesures de sécurité, quatre entrées pour spectateurs (est, ouest, sud et nord) ainsi qu'un autre accès liant le premier étage et l'extérieur seront installés.

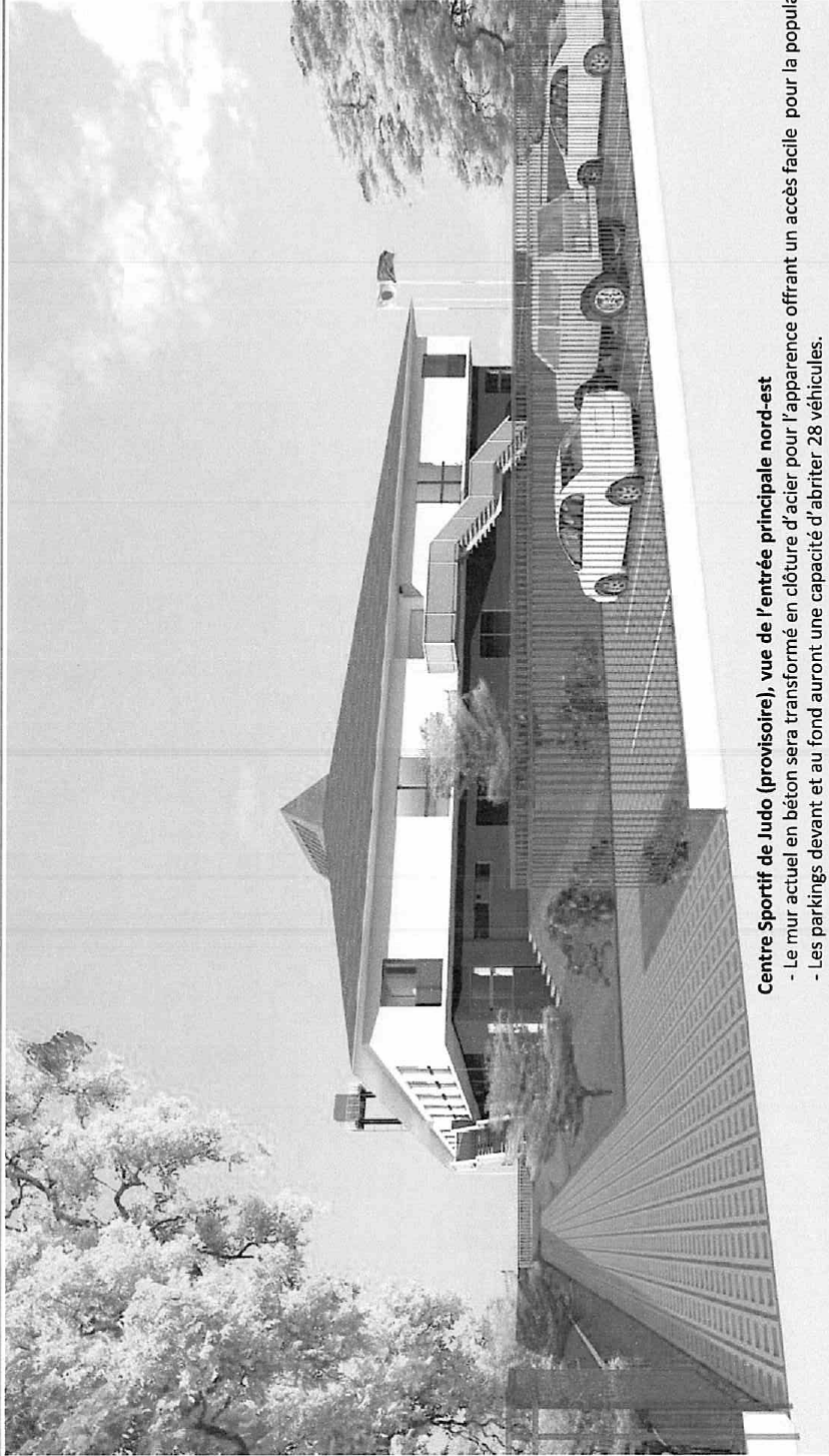
Le genre sera dotée d'un long auvent, de la lumière naturelle douce qui éclaire l'intérieur, d'une apparence asymétrique et d'une forme ouverte de culture comme expression typique japonaise.



PROVISOIRE

Consortium entre Koei Research & Consulting Co., Ltd et Nippon Koei Co., Ltd.

Image du Centre Sportif de Judo construit (provisoire) Projet de Construction du Centre Sportif de Judo en République Démocratique du Congo



PROVISOIRE

Centre Sportif de Judo (provisoire), vue de l'entrée principale nord-est

- Le mur actuel en béton sera transformé en clôture d'acier pour l'apparence offrant un accès facile pour la population civile.
- Les parkings devant et au fond auront une capacité d'abriter 28 véhicules.

Consortium entre Koei Research & Consulting Co., Ltd et Nippon Koei Co., Ltd.

4-3. 討議覚書（テクニカルノート-現地調査時-）

**NOTE TECHNIQUE
SUR
L'ETUDE PREPRATOIRE POUR
LE PROJET DE CONSTRUCTION DU CENTRE SPORTIF DE JUDO
EN REPUBLIQUE DEMOCRATIQUE DU CONGO**


Préalablement à la présente Note Technique, les éléments essentiels du Projet de Construction du Centre Sportif de Judo (désigné ci-après par « le Projet ») ont été confirmés dans le compte rendu des discussions signé entre les instances concernées de l'étude citée en objet en République Démocratique du Congo (désigné ci-après par « la partie congolaise ») et l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (désignée ci-après par « la JICA ») le 3 février 2017 (désigné ci-après par « le compte rendu »). Ces éléments essentiels proviennent des discussions entre la partie congolaise et le chef de la Mission de la JICA ainsi que de l'étude sur le terrain.

A la fin de l'étude sur le terrain, la partie congolaise et le consultant de la Mission de l'étude confirment les éléments qui se sont éclaircis davantage en matière de conception du Projet.

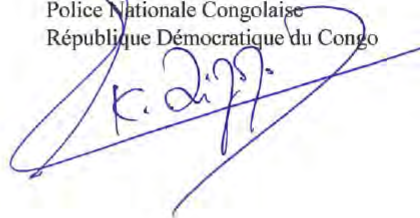
Le consultant de la Mission de l'étude a informé la partie congolaise que le contenu du Projet confirmé au stade de l'étude sur le terrain pourrait être modifié à l'issue de l'analyse au Japon après le retour de la Mission et des concertations avec les autorités japonaises.

Fait à Kinshasa, le 16 février 2017

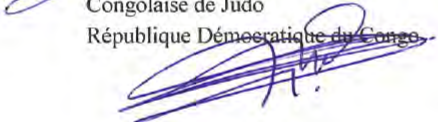
Ir. Dieudonné BOFALA ELANGA
Chef de Division/Expert du Secrétariat
Général aux Sports et Loisirs
Ministère de la Jeunesse, Sports et Loisirs
République Démocratique du Congo



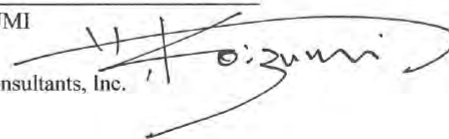
M. Jean Romuald EKUKA LIPOPO
Commissaire Supérieur Principal
Coordonnateur National
Cellule Réforme de la Police
Police Nationale Congolaise
République Démocratique du Congo



M. Dominique MAKOBO
Président de la Fédération Nationale
Congolaise de Judo
République Démocratique du Congo



M. Hirotaka KOIZUMI
Consultant en chef
Système Science Consultants, Inc.
Japon



APPENDICE

1. Principales Disciplines Sportives Qui Seront Pratiquées dans le Centre Sportif de Judo

La principale discipline sportive qui sera pratiquée dans le présent centre sportif de judo est le judo. Le centre sera conçu de manière à ce qu'il puisse être utilisé non seulement pour les entraînements quotidiens de judo mais également pour les compétitions de judo de la RDC (compétitions nationales, etc.). Les tailles et d'autres conditions requises du centre sont :

- Capacité d'accueil du centre : 1 500 personnes
- Aire de combat et dimensions de Tatami pour le judo : Suivant les normes internationales

Le présent centre sera également conçu pour les disciplines sportives en salle autre que le judo, à savoir 6 disciplines suivantes :

- 1) Karaté
- 2) Jujitsu
- 3) Aïkido
- 4) Basket-ball
- 5) Volley-ball
- 6) Handball

2. Principales Composantes de l'Infrastructure

Les principales composantes de l'infrastructure sont décrites dans l'Annexe 1.

3. Règlement du Comité de Gestion

Conformément au contenu du compte rendu, le règlement du comité de gestion sera décidé à travers les discussions. La réunion du comité de gestion se tiendra en principe 1 fois par mois.

4. Contenu de la Requête de Composante Soft

La « composante soft » consiste à offrir au pays bénéficiaire un service d'expertise dans la phase initiale d'un projet de construction des infrastructures et d'approvisionnement en équipement dans le cadre de la coopération financière non remboursable du Japon. Elle constitue avec la «composante dure» le contenu des services de ladite coopération.

Dans le présent projet, elle vise deux objectifs suivants ;

- i) Constituer le système de gestion et de maintenance des infrastructures et des équipements, et élaborer leurs manuels (guides) ;
- ii) Obtenir le savoir-faire relatif à l'organisation des compétitions et événements ainsi qu'à l'exploitation du centre.

La composante soft sera mise en œuvre sur place (en RDC) pendant 2 mois avant ou après l'achèvement de construction du centre sportif de judo. Le comité de gestion désignera les personnels qui pourront bénéficier dudit service avant l'achèvement des travaux.

5. Plan d'Infrastructure

Le plan d'infrastructure est décrit dans l'Annexe 2.



6. Contenu des Equipements

Le contenu des équipements est décrit dans l'Annexe 3.

7. Dispositions à prendre par la Partie Congolaise

- 1) Dès la signature de l'Accord de Don et avant l'appel d'offres au plus tard
 - Déplacement et/ou enlèvement des installations existantes, de la zone verte, etc. dans le site du Projet et nivellement du site
- 2) Avant le commencement des travaux
 - Toutes les procédures d'obtention des permissions et autorisations nécessaires pour commencer les travaux de construction
 - Mise à disposition (durant toute la période des travaux) du terrain de la rue limitrophe au nord du site des travaux et toutes les procédures nécessaires à cet égard (voir : figure 1 de l'Annexe 2)
- 3) Durant l'exécution des travaux
 - Obtenir les permissions de raccordement de l'électricité, des eaux potables, des eaux usées, de communication téléphonique, etc. au site du Projet
 - Raccorder les infrastructures mentionnées ci-dessus de l'extérieur du site à son intérieur (Le raccordement à l'intérieur du site sera pris en charge par la partie japonaise.)
 - Assurer le déchargement, le dédouanement des produits et faciliter leur transport intérieur en RDC dans les meilleurs délais :
 - Exonération fiscale et dédouanement des produits au port de débarquement
 - Accorder aux personnes physiques japonaises et/ou aux personnes physiques des pays tiers dont les services seront nécessaires à la fourniture des produits et/ou des services, les facilités nécessaires pour leur entrée et séjour en RDC, afin qu'ils puissent effectuer leur travail.
 - S'assurer que les droits de douane, taxes intérieurs et autres charges fiscales qui pourraient être imposés en RDC à l'égard de l'achat des produits et/ou des services seront exonérés.
 - S'assurer que le frais d'inspection de l'Office Congolais de Contrôle à l'égard de l'achat de produits ou services seront exonérés.
- 4) Après l'achèvement des travaux
 - Aménagement du paysage dans l'enceinte du site (implantation des arbres, etc.)
 - Approvisionnement en équipement de bureautique, objets ménagers, meubles, etc. qui ne seront pas fournis dans le cadre du présent Projet

8. Importance de l'Aménagement de la Rue Limitrophe au Nord du Site du Projet

La partie congolaise a pris bonne connaissance de l'importance de l'aménagement de la rue limitrophe au nord du site du Projet compte tenu de l'accessibilité du présent centre.

9. Liste des homologues et du personnel d'appui de la partie congolaise et de la Partie Japonaise

La liste des homologues et du personnel d'appui de la partie congolaise et de la partie japonaise est indiquée dans l'Annexe 4. Les deux parties ont confirmé la continuité de coopération réciproque jusqu'à l'achèvement du Projet.

 Fin

Annexes :

Annexe 1 : Principales composantes de l'infrastructure

Annexe 2 : Plan d'infrastructure

Annexe 3 : Equipements demandés et leur ordre de priorité

Annexe 4 : Liste des homologues et du personnel d'appui de la partie congolaise et de la partie japonaise

A handwritten signature in blue ink, consisting of several stylized, overlapping loops and lines, positioned in the lower right quadrant of the page.

Annexe 1 : Principales composantes de l'infrastructure (diverses salles)

Les principales composantes de l'infrastructure sont décrites dans le tableau suivant. Toutefois, le contenu de leur plan pourrait être modifié suite au résultat de l'analyse et des discussions avec le Gouvernement japonais après le retour de la mission au Japon.

Principales composantes de l'infrastructure et leurs superficies

Salle	Superficie estimée (m ²)	Ordre de priorité
ADMINISTRATION		
Locaux des Bureaux	80	A
Salle de réunion	80	A
Poste interne sécurité	10	A
SPORT		
Salle ultra moderne de Judo	1,200	A
Terrains omnisports (Basket-ball, Volley-ball, Handball, Tennis, etc.)		A
Salle de Musculation / Gymnastique	120	A
Piscine (avec Vestiaire)	1,000	C
Dispensaire / Salle Antidopage	50	A
Tribune de presse	25	B
Vestiaire	70	A
FORMATION		
Bibliothèque	25	B
Salle Information	25	B
Salle des officiels (organisateurs des compétitions)	25	A
Salle des officiels sportifs (arbitres, commissaire au match, etc.)	25	A
Salle des interprètes	20	B
SERVICES GENERAUX		
Intendance (transit)	100	B
Dépôts	180 (total)	A
Cafeteria	100	B
Mess des athlètes		A
Exposition Sportif	100	B
Buanderie		A
Groupe électrogène		A
Eclairage public		A
Vidéo surveillance		A
Routes		A
Parking	15 véhicules	A

A-1

Ko:

Annexe 2 : Plan d'infrastructure

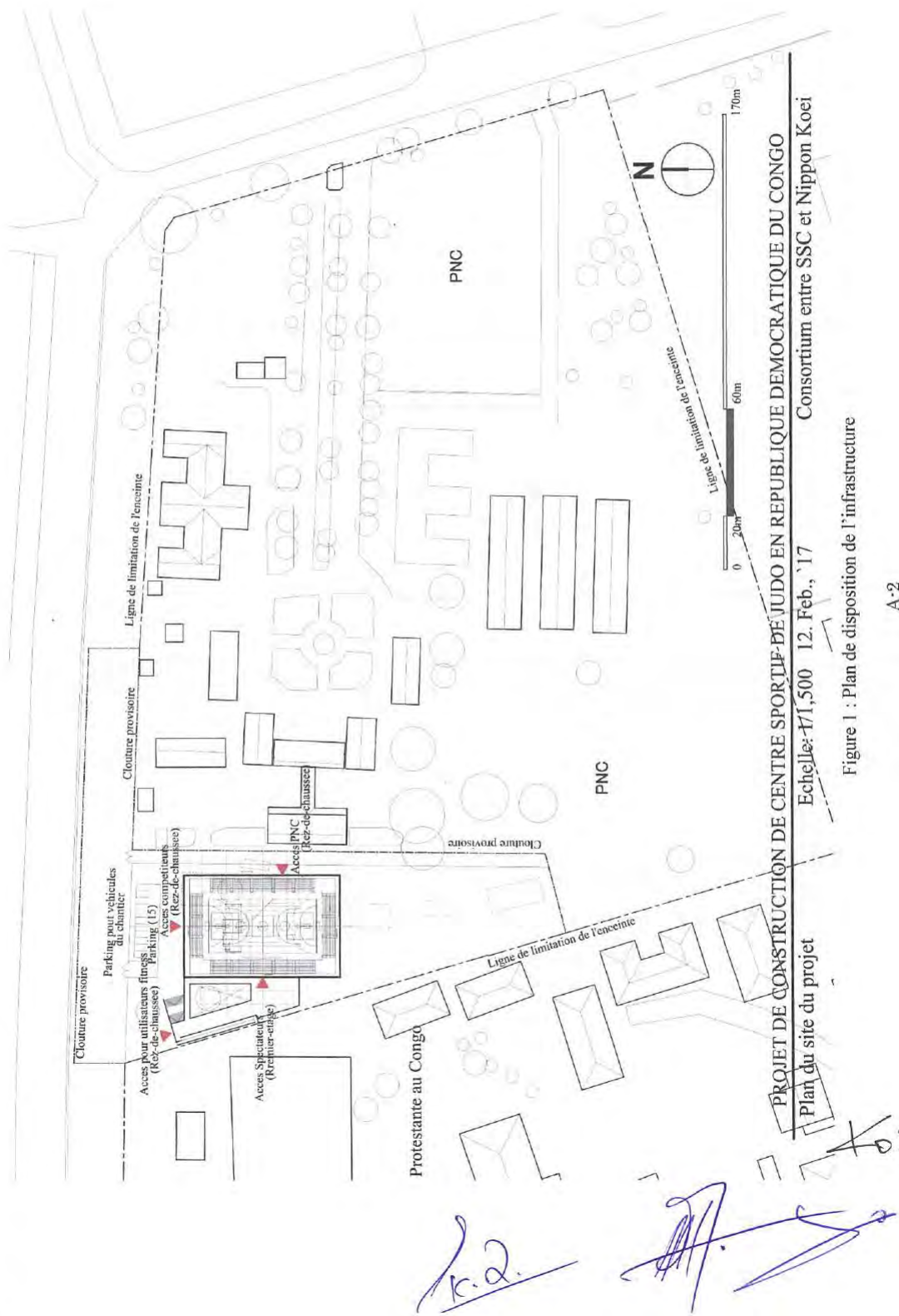
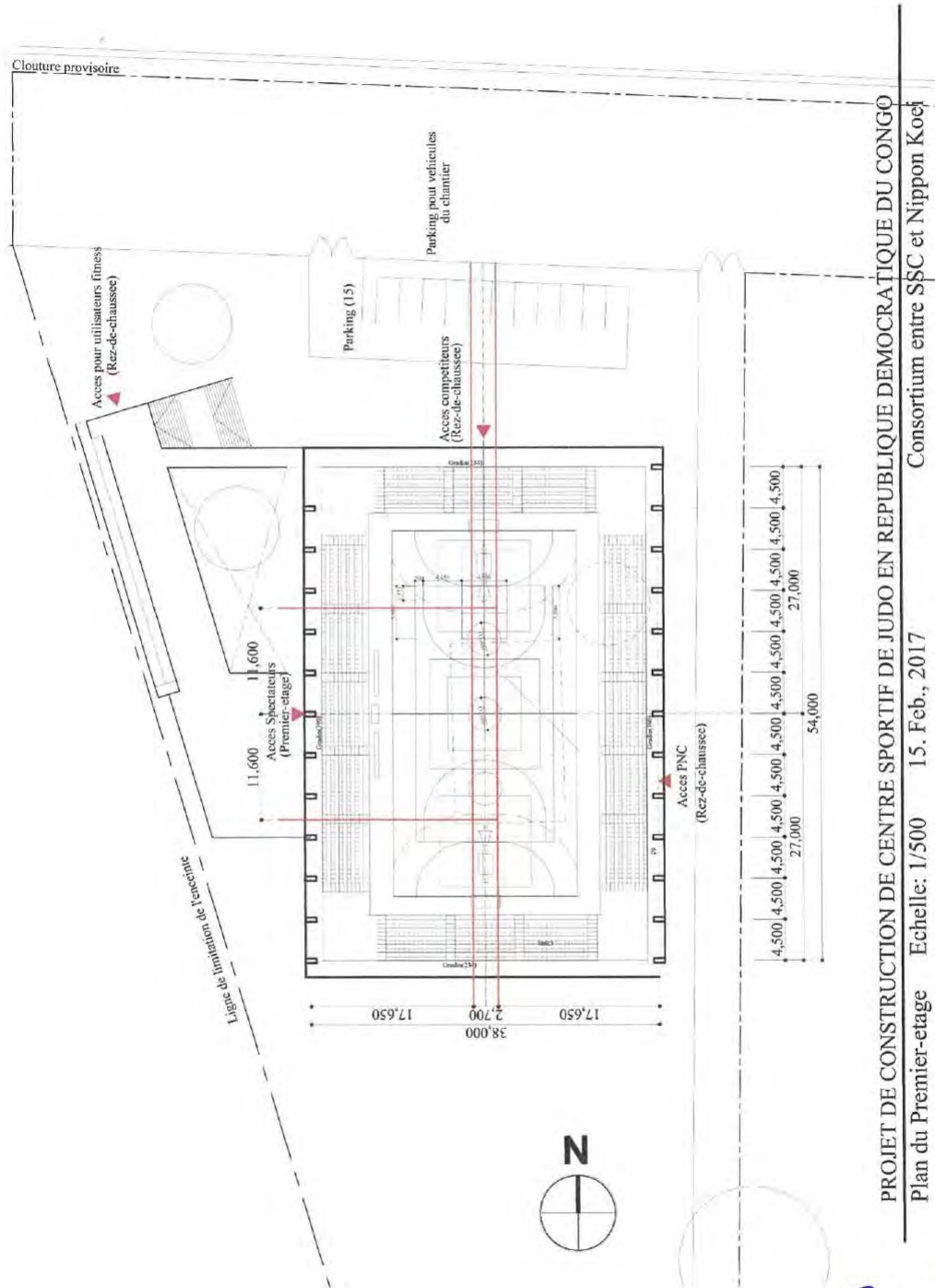


Figure 1 : Plan de disposition de l'infrastructure

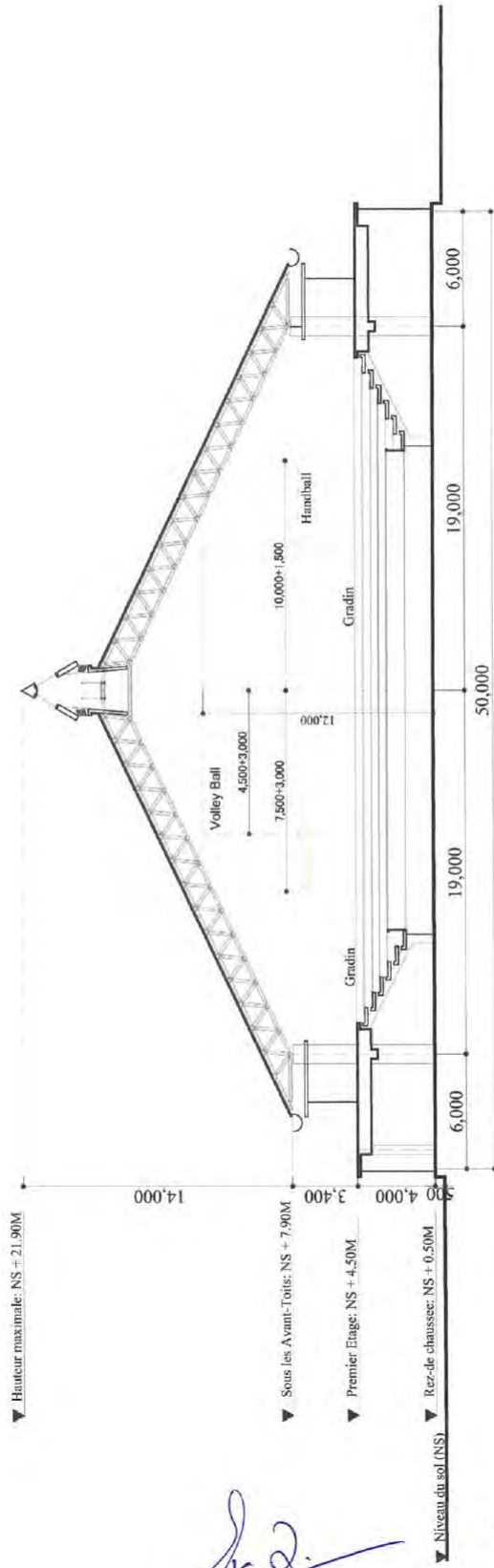
A-2



PROJET DE CONSTRUCTION DE CENTRE SPORTIF DE JUDO EN REPUBLIQUE DEMOCRATIQUE DU CONGO
 Plan du Premier-étage Echelle: 1/500 15. Feb., 2017
 Consortium entre SSC et Nippon Koei

Figure 2 : Plan du rez-de-chaussée

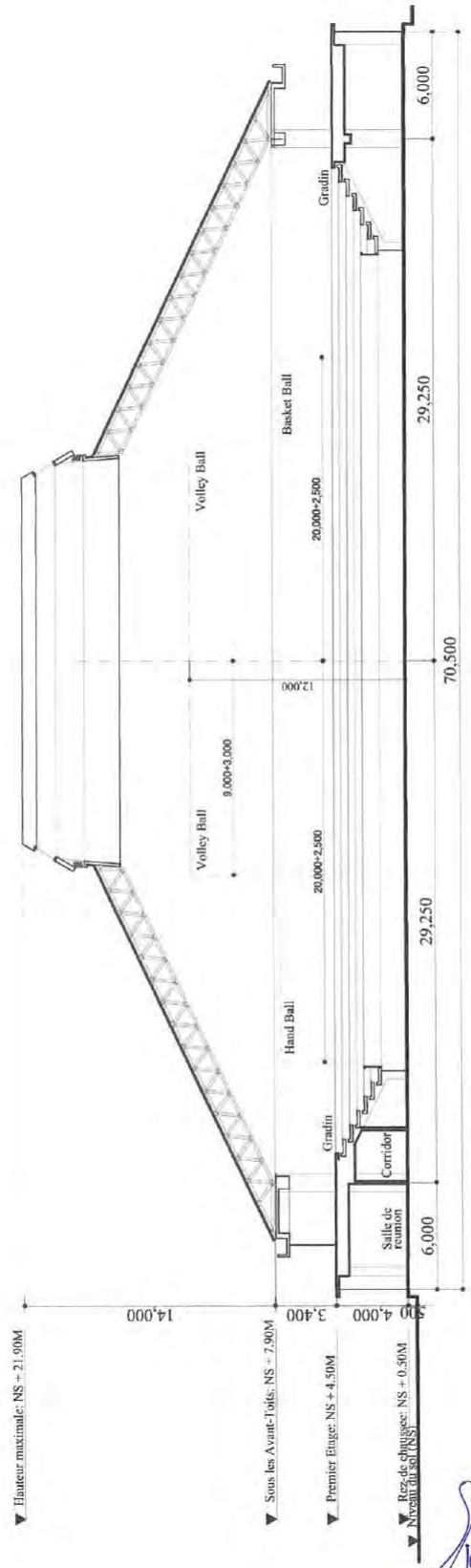
A-8



PROJET DE CONSTRUCTION DE CENTRE SPORTIF DE JUDO EN REPUBLIQUE DEMOCRATIQUE DU CONGO
 Echelle: 1/300 12. Feb., '17
 Section transversal
 Consortium entre SSC et Nippon Koei

Figure 4 : Plan transversal

A-4



PROJET DE CONSTRUCTION DE CENTRE SPORTIF DE JUDO EN REPUBLIQUE DEMOCRATIQUE DU CONGO
 Echelle: 1/300 12. Feb., '17
 Consortium entre SSC et Nippon Koei

[Handwritten signatures and initials]

Figure 5 : Plan longitudinal

A-5

Annexe 3 : Equipements demandés et leur ordre de priorité

Discipline Sportive	No.	Nom d'équipement	Priorité	Ont (proposition)	Unité
Judo	1	Tatami de judo	A	1	jeu
	2	Chariot de transport pour tatamis	A	1	jeu
	3	Bordure pour tatami (cadre)	A	1	jeu
	4	Angle de finition pour tatami	A	1	jeu
	5	Kit de Tableau affichage / progammateur	A	1	jeu
	6	Tableau affichage	A	2	pièce
	7	Balance	A	2	pièce
	8	Kimono de judo (judogi) (petits et grands)	A	1	jeu
	9	Ceinture de judo (petits et grands)	A	1	jeu
	10	Matelas de nage komi	A	2	pièce
	11	Tackle machine / Machine de plaquage ou tackle	A	2	pièce
	12	Tatami (tapis) puzzle pour pour arts martiaux	A	1	jeu
	13	Accessoires pour Arts Martiaux	A	1	jeu
Karaté	14	Tapis de karaté	A	1	jeu
	15	Tapis de lutte (catch)	B	1	jeu
	16	Ring de boxe	C	1	jeu
Basket-ball	17	Socle de buts pour basket-ball mobile	A	1	jeu
	18	Tableau affichage (basket-ball)	A	1	pièce
	19	Panier de ballons (basket-ball)	C	1	pièce
	20	Accessoires pour les jeux de balle	A	1	jeu
Volley-ball	21	Poteaux et antennes de volley-ball (agrées par la FIVB)	A	1	jeu
	22	Couverture de poteau de volley-ball (agrée par la FIVB)	A	1	jeu
	23	Chariot de poteaux et antennes	A	1	jeu
	24	Filet de volley-ball (agrée par la FIVB)	A	1	jeu
	25	Tableau affichage (volley-ball)	A	1	pièce
	26	Panier de ballons (volley-ball)	C	1	pièce
Handball	27	Poteaux de handball	A	1	set
	28	Tableau affichage (handball)	A	1	pièce
	29	Panier de ballons (handball)	C	1	pièce
Table de tennis	30	Table pour table de tennis	C	1	jeu
Gymnastique	31	Espalier de gymnastique	A	1	jeu
	32	Toile de sol	B	1	jeu
	33	Chariot de rangement pour les toiles de sol	B	1	jeu
	34	Accessoires de nettoyage et d'entretien	A	1	jeu
Futsal	35	Poteaux de but de futsal (filet et poids compris)	C	1	jeu
	36	Tableau affichage (futsal)	C	1	pièce
	37	Panier de ballons (futsal)	C	1	pièce
Fitness	38	Appareil pour renforcer l'endurance cardiopulmonaire	A	2	jeu
	39	Equipements de musculation	A	2	jeu
	40	Poids pour fortifier les muscles	A	2	jeu

A-6

Ko:

Tatami pour autres dojos (eritentes)	41	Tatami (tapis) puzzle pour arts martiaux pour Judo club Centrakin (12m x 7m)	B	1	jeu
	42	Tatami (tapis) puzzle pour arts martiaux pour Stade de Martyrs (10m x 7m)	B	1	jeu
	43	Tatami (tapis) puzzle pour arts martiaux pour Tshangu	C	1	jeu
	44	Tatami (tapis) puzzle pour arts martiaux pour Lukunga	C	1	jeu
	45	Tatami (tapis) puzzle pour arts martiaux pour Kin-Ouest	C	1	jeu
Equipements de maintenance de l'infrastructure	46	Asecnseur mobile pour maintenance du plafond et d'autres endroits du centre	A	1	jeu
	47	Equipement de maintenance des endroits élevés	A	1	jeu
	48	Autres	-	1	jeu
Autres	49	Panneaux solaires	C	1	jeu

- (1) La disposition du centre sportif de judo n'étant pas encore déterminée, le nombre de chaque composante est donné à titre provisoire. Ses détails seront confirmés lors de l'élaboration de spécification des équipements.
- (2) Les accessoires pour les arts martiaux, les jeux de balles et les installations qui ne sont pas compris dans la liste des équipements, peuvent être censés compris dans les composantes dans ladite liste.
- (3) Les équipements de fitness sont indiqués par catégorie, et leurs composantes seront indiquées dans la spécification dès que la superficie du gymnase est déterminée.
- (4) La composition des équipements doit prendre en considération les demandes sur les équipements émises par les officiels du Ministère de la Jeunesse, Sports et Loisirs, de la PNC, des présidents des fédérations de chaque discipline sportive ou leurs représentants lors de leurs interviews par la mission.
- (5) L'ordre de priorités des équipements est établi en A, B et C et doit prendre en considération les demandes sur les équipements émises par les officiels du Ministère de la Jeunesse, Sports et Loisirs, de la PNC, des présidents des fédérations de chaque discipline sportive ou leurs représentants lors de leurs interviews par la mission, de la population des pratiquants de chaque discipline sportive ainsi que du nombre des événements sportifs.
- (6) Les équipements pour le judo étant prioritaires, les seuls tapis puzzles pour les principaux dojos de judo dans la ville de Kinshasa, demandés par le président de la Fédération Nationale Congolaise de Judo, sont supplémentaires ajoutés dans la liste.

A-7

Annexe 4 : Liste des homologues et du personnel d'appui de la partie congolaise et de la partie japonaise

Oranisation	Titre/Fonction/Appartenance	NOM et Prénom
PNC	Commissaire Général	Général BISENGIMANA Charles
	Coord Nat CRP	EKUKA LIPOPO Jean Romuald Romy
	Chef de SGEI adjoint / chef CAMO Infra	MUHASA BAKWANAMAHA Barnabe
	Chef de service adjoint Affaires Sociales (Sports)	MUBIKAY MUBI Baudouin
	Conseiller COMGEN	KABUYA KAYEMBE Kelly
	Chef de Departement du Budget & Finances	MUHEMERI GOGOLO Hubert
	Chef, CAMO Adj't Infra	NGOY MWIPATAY Gabriel
MJSJL	Secretariat General aux Sports et Loisirs	OKITO OLEKA Barthelemy
	Division Etudes et Planifiacion	BOFALA ELANGA Dieudonné
Fédération Nationale Congolaise de Judo	Administrateur & President de la Federation	MAKOBO Dominique Dominique
	Secretaire général de la FENACOUJU	MANGILI ADIKWA Pierre
JICA	Représentant Résident	AOKI Toshimichi
	Représentant Résident Adjoint	KURIMOTO Masaru
	Directrice Adjointe des Programmes	BOKETSU Mariane
	Conseiller en chef	YONEZAKI Eiro
Mission d'Etude	Coordonnatrice des activités	BANDO Ai
	Chef de la mission	SANUI Kazumsa
Equipe de Consultant	Chargé de projet	MINE Naoki
	Consultant en chef / Plan d'Infrastructures-1	KOIZUMI Hirotaka
	Consultant en chef adjoint / Plan d'Infrastructures-2	YAMANO Yoshihiko
	Conception d'architecture	HOSHIAI Yoshifumi
	Plan d'exécution des travaux / Estimation du coût	HAYAHARA Akihiro
	Plan des équipements et d'approvisionnement	AOKI Masayuki
	Considérations environnementales et sociales	TANIMOTO Shin-ichiro
	Etude sur conditions naturelles	TAKAMURA Togo
Interprète	IKUMA Emi	

A-8 K.2. Koi

5. ソフトコンポーネント計画

- 5-1. ソフトコンポーネントを計画する背景
- 5-2. ソフトコンポーネントの目標
- 5-3. ソフトコンポーネントの成果
- 5-4. 成果達成度の確認方法
- 5-5. ソフトコンポーネントの活動
- 5-6. 投入計画
- 5-7. ソフトコンポーネントの実施リソースの
調達方法
- 5-8. ソフトコンポーネントの実施工程

5. ソフトコンポーネント計画書

5-1. ソフトコンポーネントを計画する背景

本無償資金協力で計画する柔道スポーツ施設と機材は E/N 締結前までに発足する「柔道スポーツ施設利用監督委員会」のもと、日常的な運営については、「運営機関」によって管理されることになっている。この委員会は PNC とスポーツ余暇省によって構成される。このうち主たる存在であり、実施機関である PNC は本部内に複数の施設を持ち、自らの組織でこれらの施設の清掃、維持管理にあたっており比較的よく管理されている。その一方で PNC をはじめコンゴ民に本格的な屋内体育施設はなく、維持管理の経験がない。

柔道スポーツ施設と機材の引渡し後にこれらを長期にわたって良好な状態に維持するためには、日常的な清掃・点検を実施し、定期的な修繕を行うことが必要である。このため実施機関である PNC 内に柔道スポーツ施設と機材を維持管理する組織を確立し、メンテナンスマニュアルを作成し、本施設を運用する方法についての指導を行う必要がある。

加えて、本プロジェクトでは柔道・空手を中心とした武道や他スポーツの大会の実施や施設の外部利用を促進し、利用率の向上を図ることが目標とされている。施設を運営する「運営機関」にはこのノウハウがなく、大会やイベントの招致、会場の貸し出しについての技術を指導する必要がある。

そこで、本ソフトコンポーネントでは計画される柔道スポーツ施設の維持管理と運営能力の確立を目標として「運営機関」の維持管理および運営それぞれの担当責任者を対象とした技術指導を行う。具体的には①維持管理運営組織の立ち上げ支援、②維持管理マニュアルの作成支援、③利用率向上に向けた運営計画の作成支援を行い、それぞれ、座学と実習による技術指導を行う。

5-2. ソフトコンポーネントの目標

ソフトコンポーネントによって技術的な指導を行うことにより、新しく建設される柔道スポーツ施設の維持管理運営が適切かつ持続的に行われる基盤を構築することを目標とする。

5-3. ソフトコンポーネントの成果

本ソフトコンポーネントの導入により、柔道スポーツ施設の維持管理運営に係る次のような成果を達成する。

- ・ 柔道スポーツ施設の維持管理体制が策定される。
- ・ 柔道スポーツ施設の維持管理に関する基礎知識が習得され、維持管理運営マニュアルが作成される。
- ・ 柔道スポーツ施設の利用率向上に向けた基礎知識が習得され、運営計画が作成される。

5-4. 成果達成度の確認方法

以下に示す方法により、成果達成度を確認する。

- ・ 柔道スポーツ施設の維持管理運営組織の立ち上げが行われたことを確認する。
- ・ 研修終了前に筆記、口頭及び実技形式の試験を行い、基礎的知識の習得度を確認する。
- ・ 維持管理マニュアルが完成し、柔道スポーツセンターへの活用が開始されたことを確認する。
- ・ 運営計画が作成されたことを確認する。

5-5. ソフトコンポーネントの活動（投入計画）

活動内容

ソフトコンポーネントにおいて、「運営機関」の維持管理運営能力の向上を図るため、①維持管理運営組織の立ち上げ支援、②維持管理マニュアルの作成支援、③運営計画の作成支援を行う。そのために、以下の部門ごとに維持管理運営に関する技術指導を実施し、それぞれ筆記試験・実技試験により技術の習得度を確認する。

- ① 総括部門（4名）
- ② 運営部門（4名）
- ③ 清掃部門（12名）
- ④ 警備業務部門（12名）
- ⑤ 機械・電気・IT設備の運用・点検業務部門（4名）

5-6. 投入計画

ソフトコンポーネントの実施にあたってコンサルタントは維持管理運営に関する知識・技術に精通した日本人技術者を指導員として充てる。また活動期間は、①維持管理運営体制の立ち上げ支援に0.30ヶ月、②維持管理マニュアルおよび運営計画の作成支援に0.30ヶ月を想定する。対象者を2班にわけて、短期間に効率的に指導するために2名の指導員とそれぞれに1名ずつの通訳を割り当てる。2名の役割分担は次のとおりである。

指導員1： 総括部門、運営部門、清掃部門（第1班）

指導員2： 警備業務部門、機械・電気、IT設備の運用・点検部門（第2班）

これらの部門ごとに2班にわけて効率的に指導を行う

上記①では、初めの0.20ヶ月間で維持管理運営能力向上のための研修を行う。日本国内の体育施設の管理における事例を紹介する座学によるトレーニングを行ない、各業務内容の把握と維持管理運営に必要な基礎的知識・技術の習得支援を行う。知識・技術の習熟度を把握するため、最終日に筆記試験を実施する。その後の0.10ヶ月間で、現地にて柔道スポーツ施設維持管理運営のための組織立ち上げを行う。

上記②では、初めの0.20ヶ月間で上記①のソフトコンポーネントにて立ち上げた維持管理運営体制に従い、総括、運営、清掃といった部門ごとに維持管理マニュアルの作成支援を行う。これらを取りまとめた後の0.10ヶ月間で、作成したマニュアルに沿って実技試験を行い、柔道スポーツ施設の維持管理運営に関する基礎的知識の習熟度を確認する。またマニュアルについては、将来的に実際に生じる要望や問題に対応して改定していくことができるよう支援する。

また総括と運営担当者に対しては利用率向上に向けた運営計画の作成支援を行う。具体的には年間スケジュールの調整方法、利用率向上のための具体的事例を示しながら運営計画の作成を支援する。

表1にソフトコンポーネント活動詳細計画（現地活動）を示す。

表 5-1 ソフトコンポーネント活動詳細計画（現地活動）

① 維持管理運営体制の立ち上げ支援

日順	内容	実施期間
国内作業		
▶ 1	指導方法検討	0.15 ヶ月
▶ 2	座学用教材作成	
▶ 3	実習用教材作成	
① -1 維持管理運営業務の基礎的知識・技術習得+筆記試験		
1	講師 移動（日本発）	0.20 ヶ月
2	講師 移動（キンシャサ着）、研修内容・会場確認	
3	柔道スポーツ施設の維持管理運営に必要な知識（第1班・第2班）	
4	（第1班）総括業務、運営業務、掃業業務 （第2班）警備業務、機械・電気・IT設備の運用・点検業務部門	
5	（第1班）総括業務、運営業務、掃業業務 （第2班）警備業務、機械・電気・IT設備の運用・点検業務部門	
6	知識習得状況の確認（筆記・口頭試験）（第1班・第2班）	
① -2 維持管理運営組織の立ち上げ		
7	維持管理運営組織編成、組織のマネジメントに必要な知識（第1班・第2班）	0.10 ヶ月
8	維持管理運営組織の立ち上げ確認、相手国予算配分、措置の確認、講師 移動（キンシャサ発）	
9	講師 移動（日本着）	

② 維持管理運営マニュアルの作成支援

日順	内容	実施期間
国内作業		
▶ 1	指導方法検討	0.15 ヶ月
▶ 2	座学用教材作成	
▶ 3	実習用教材作成	
②-1 維持管理運営マニュアルの作成		
1	講師 移動（日本発）	0.20 ヶ月
2	講師 移動（キンシャサ着）、研修内容・会場確認	
3	維持管理運営マニュアルの事例分析、目標の設定（第1班・第2班）	
4	（第1班）総括業務、運営業務、掃業業務 （第2班）警備業務、機械・電気・IT設備の運用・点検業務部門	
5	（第1班）総括業務、運営業務、掃業業務 （第2班）警備業務、機械・電気・IT設備の運用・点検業務部門	
6	維持管理運営マニュアルの作成（第1班・第2班）	
② -2 維持管理運営マニュアルに沿った実務演習+実技試験		
7	実務演習+実技試験（各部門）（第1班・第2班）	0.10 ヶ月
8	研修結果整理、講師 移動（キンシャサ発）	
9	講師 移動（日本着）	

出典：JICA 調査団

5-7. ソフトコンポーネントの実施リソースの調達方法

コンゴ民国には本格的な屋内スポーツ施設はない。また、施設の維持管理を受託する会社もなく指導員もいない。したがって、本ソフトコンポーネントの実施にあたってローカルリソースの活用の可能性はなく、受注コンサルタントの直接支援で実施されることを想定する。

表 5-3 工程・派遣計画 (M/M)

項目	派遣期間	要員数	国内MM	現地MM	通訳現地MM
①維持管理運営体制の立ち上げ支援					
国内準備作業	3日	2	0.30		
維持管理運営業務の基礎的知識・技術習得＋筆記試験	6日	2		0.40	
維持管理運営組織の立ち上げ	3日	2		0.20	
通訳	9日	2			0.60
②維持管理運営マニュアルの作成支援					
国内準備作業	3日	2	0.30		
維持管理マニュアルの作成	6日	2		0.40	
維持管理運営マニュアルに沿った実務演習(見極めテスト)	3日	2		0.20	
通訳	9日	2			0.60
合計			0.60	1.20	1.20

出典：JICA 調査団 [] 地 [] 国内

6. 参考資料

- 6-1. 事業サイト登記簿
- 6-2. サイト測量図
- 6-3. サイト地質調査結果
- 6-4. 環境チェックリスト

6. 参考資料

6-1. 事業サイト登記簿

REPUBLIQUE DEMOCRATIQUE DU CONGO
MINISTRE DES AFFAIRES FONCIERES



DIVISION URBAINE DE LA LUKUNGA
KINSHASA / GOMBE

Kinshasa, le

13/09/2014

N° 2.441.3/2014

Objet : Envoi certificat d'enregistrement

Vol. AI.508 Folio 107

A LA REPUBLIQUE DEMOCRATIQUE DU
CONGO,
Avenue Palais du Peuple N°1.-
COMMUNE DE LINGWALA.-

Messieurs,

J'ai l'honneur de vous faire
parvenir en annexe à la présente avec prière de bien vouloir m'en accuser
réception :

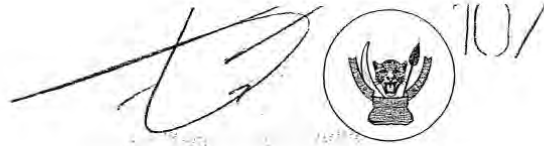
- Le Contrat de Concession Ordinaire conclu avec la République
Démocratique du Congo ;
- Le certificat d'enregistrement Volume AI.508 Folio 107 établi à
votre nom pour la parcelle numéro 5294 située à Kinshasa dans la
Commune de LINGWALA.,

Veuillez agréer, Messieurs,

l'assurance de ma considération distinguée.



Le Conservateur des Titres Immobiliers
Gracia KAVUMVULA



Ministère des Affaires Foncières

CERTIFICAT D'ENREGISTREMENT D'UNE CONCESSION : ORDINAIRE

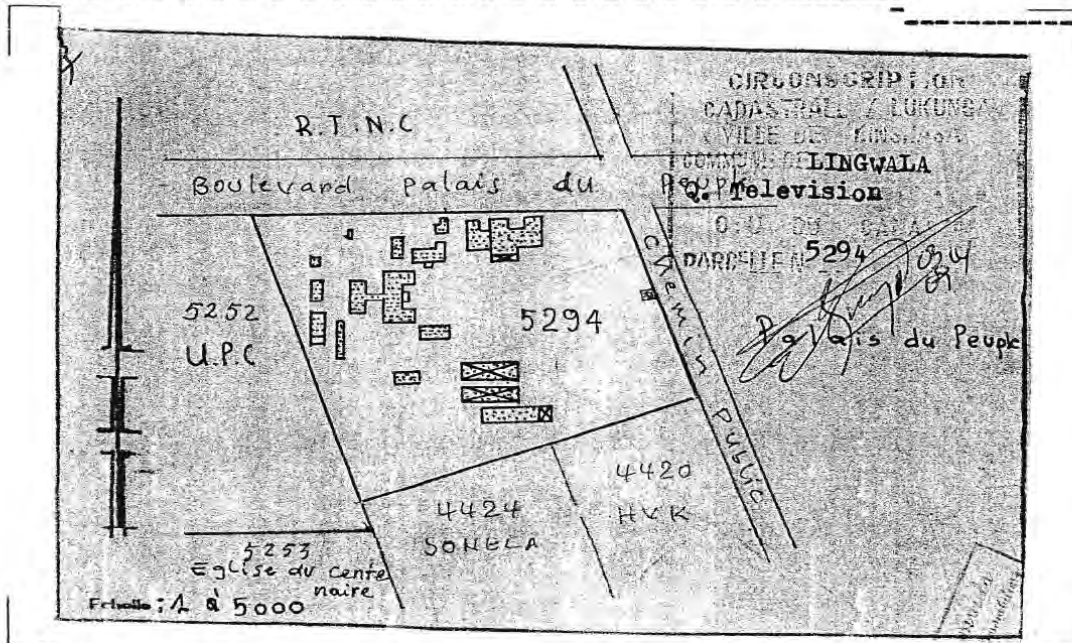
ORIGINAL

SECTION URBAINE

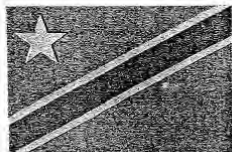
Livre d'Enregistrement
Vol. AI.508 Folio 107

Commune DE LINGWALA
VILLE DE KINSHASA

LA REPUBLIQUE DEMOCRATIQUE DU CONGO, Ministère de L'Intérieur Sécurité-----
 Décentralisation et Affaires Coutumières, COMMISSARIAT GENERAL DE LA-----
 POLICE NATIONALE CONGOLAISE ayant son siège social sur l'Avenue Palais-----
 du Peuple numéro 1, dans la Commune de LINGWALA.,- - - - -
 Est enregistrée comme étant, en vertu d'un contrat de concession ordi-----
 naire conclu avec la République Démocratique du Congo, prenant cours en-----
 date du douze septembre deux mille quatorze pour un terme de vingt-cinq-----
 ans renouvelable, reçu le douze septembre deux mille quatorze au registre-----
 journal sous les numéros d'ordre: général: A.112.504 et spécial R.C.O.-----
 3036,- - - - -
 Concessionnaire ordinaire jusqu'au onze septembre de l'an deux mille-----
 trente-neuf du fonds indiqué ci-après: une parcelle de terre, portant le---
 numéro 5294 du plan cadastral située à Kinshasa dans la Commune de---
 LINGWALA, d'une superficie de: SIX HECTARES, CINQUANTE CINQ ARES, VINGT-----
 ET UN CENTIARES, SOIXANTE DOUZE CENTIEMES, d'après le procès-verbal de-----
 mesurage et de bornage n°52.862/L du premier septembre deux mille quatorze
 PROPRIETE DE L'ETAT.,- - - - -
 Sur cette parcelle sont édifiés les immeubles indiqués ci-après: PLUSIEURS--
 Bâtiments à usage Administratif avec leurs dépendances.- - - - -
 Les limites, tenants et aboutissants de la parcelle susdite sont rensei-----
 gnés au croquis ci-dessous fait à l'échelle de 1 à 5.000.- - - - -



Les charges qui grèvent cette CONCESSION ORDINAIRE,----- sont indiquées d'autre part.
 Etabli à ----- Kinshasa,----- le douze septembre Deux mil quatorze.-----



VILLE DE KINSHASA
COMMUNE DE LINGVALA
LOTISSEMENT Q. TELEVISION



CONTRAT DE CONCESSION ORDINAIRE N° 3036
DU 12/09/2014

ENTRE :

La République Démocratique du Congo représentée par le Chef de Division des Affaires Foncières pour Kin/Combe agissant en vertu des pouvoirs qui lui sont conférés par l'Arrêté Départemental n° 76/00014 du 30 janvier 1976, ci-après dénommée « LA REPUBLIQUE », de première part.

COMMISSARIAT GENERAL DE LA POLICE NATIONAL CONGOLAISE, Créée en date du 20002 suivant Décret 0022/06 de 2002 représenté par CG PNC siège social avenue Palais du **ET: peuple** no 1 dans la Commune de **LINGVALA**.

Ci-après dénommé « LE CONCESSIONNAIRE ORDINAIRE », de seconde part,

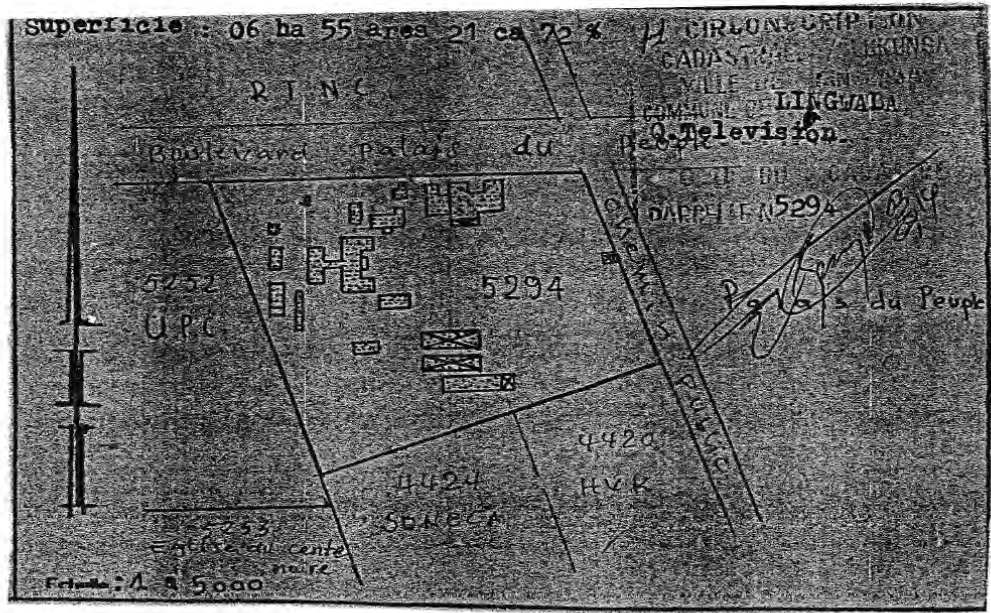
IL A ETE CONVENU CE QUI SUIT :

Article 1 : Le droit de location que détient **COMMISSARIAT GENERAL DE LA POLICE NATIONAL CONGOLAISE** en vertu administratif portant sur la parcelle N°5294 destinée à usage 06 ha 55 a 31 ca 73 située dans la Commune LINGVALA d'une superficie de 06 ha 55 a 31 ca 73 dont les limites sont représentées sous liseré rouge au croquis ci-annexé dressé à l'échelle de 1 à 5.000 est couverte avec effet en un droit de concession ordinaire.

Article 2 : Le présent contrat prend cours le premier à la date de sa signature est conclu pour une durée de VINGT CINQ ANS (25 ANS) soit jusqu'au 2039.
ce terme est renouvelable pour la durée restant à couvrir à la vie actuelle du concessionnaire ordinaire.

Article 3 : Le présent contrat de concession ordinaire ne sera effectué qu'après paiement d'un montant total de _____ représentant les prix de référence et taxes rémunératoires d'usage.

Article 4 : Le concessionnaire ordinaire a l'obligation de maintenir sur la parcelle concédée une mise en valeur au moins égale à celle constatée par le procès-verbal de constat dressé par un géomètre du Cadastre, sauf en cas de démolition en vue d'une reconstruction ou transformation ultérieure.



RAPPORT ADMINISTRATIF N° 644.../2014

L'an deux mille quatorze, le premier jour du mois de septembre, je soussigné Jonas BATANGUA mu MFUMU, Ingénieur Géomètre-Expert immobilier du cadastre, Ville de Kinshasa déclare m'être rendu dans la parcelle portant numéro 5294 du plan cadastral, Commune de Lingwala suivant l'ordre de mission n° 2177 du 01/09/2014 établi par le Chef de Division du cadastre Lukunga.

J'atteste sur l'honneur y avoir constaté ce qui suit :

1. ASPECT JURIDIQUE

Aucun document ne couvre la parcelle sauf qu'elle abrite les services du Commissariat Général de la Police Nationale Congolaise. D'où la lettre de demande de l'établissement d'un certificat d'enregistrement par le Commissaire Général en faveur de ce dernier.

2. ASPECT TECHNIQUE

Les constructions suivantes sont érigées dans la concession :

1. Bâtiment DRH (Ressources Humaines)

Niveau R + 2
dimension (23,20 m x 54,95 m) + (10,50 m x 15,30 m)
Surface bâtie : $1435,49\text{m}^2 \times 2 = 2870,98\text{m}^2$

2. Bâtiment logistique

Niveau Rez de chaussée
dimension (26,70 m x 10,20 m) + (4,95 m x 3,70 m) + (3,25 m x 4,90 m)
Surface bâtie : 306,58 m²

3. Bâtiment S.G.I

Niveau Rez de chaussée
dimension (11,10 m x 25,60 m) + (3,30 m x 5,05 m)
Surface bâtie : 300,825 m²

4. Bureau Patrimoine S.G.I

Niveau Rez de chaussée
dimension (10,06 m x 6,95 m) + (6,93 m x 3,20 m)
Surface bâtie : 92,093 m²

5. Entrepôt

Niveau Rez de chaussée
dimension (8,93 m x 20,60 m)
Surface bâtie : 183,958 m²

6. Bâtiment Administratif (Défense)

Niveau R + 1

dimension : - (11,87 m x 47,20 m) + (12 x 8,63 m x 10,80m) + (3,95 m x 6,12 m)
 - (29,45 m x 11,75 m) + (4,35 m x 16,59 m)

Surface bâtie : 2 x 1189,05 = 2378,10 m²

7. Annexes (Installations sanitaires, Dispensaire, hangar chiens de garde)

Niveau Rez de chaussée

dimension : - 5,75 m x 8,03 m = 46,1725 m²
 - 8,86 m x 19,35 m = 171,441 m²
 - 12,00 m x 24,95 m = 299,40 m²
 - 3,90 m x 6,60 m = 25,74 m²

Surface bâtie : 542,7535 m²

8. Hangars Parking

Niveau Rez de chaussée

dimension 3 x (12,16 m x 48,20 m) + (10,00 m x 12,20 m)

Surface bâtie : 1880,336 m²

9. Guérite d'entrée :

Niveau Rez de chaussée

dimension 10,17 m x 6,58 m

Surface bâtie : 66,9186 m²

Surface bâtie totale : 8622,5441 m²

Surface mise en valeur : 43112,72 m²

Signalons aussi que la parcelle est entièrement clôturée, il y a du gazon, l'aire de jeu, les voies d'accès asphaltées, les arbres et les fleurs comme plantation.

3. AVIS ET CONSIDERATIONS

- En rapport avec la destination de la parcelle, la mise en valeur est suffisante, donc le Conservateur peut établir un certificat d'enregistrement ;
- Vu la superficie de la parcelle qui est de plus 06 hectares la compétence est réservée au Ministre des Affaires Foncières.

En foi de quoi, le présent rapport administratif a été dressé aux jour, mois et an que dessus.

Vu et transmis 2 exemplaires à Mr le

Kinshasa, le / /2014

Le Chef de Division du cadastre

Ir. Jonas KABUYA LUKUSA



Le Géomètre

Ir. Jonas BATANGUA M.

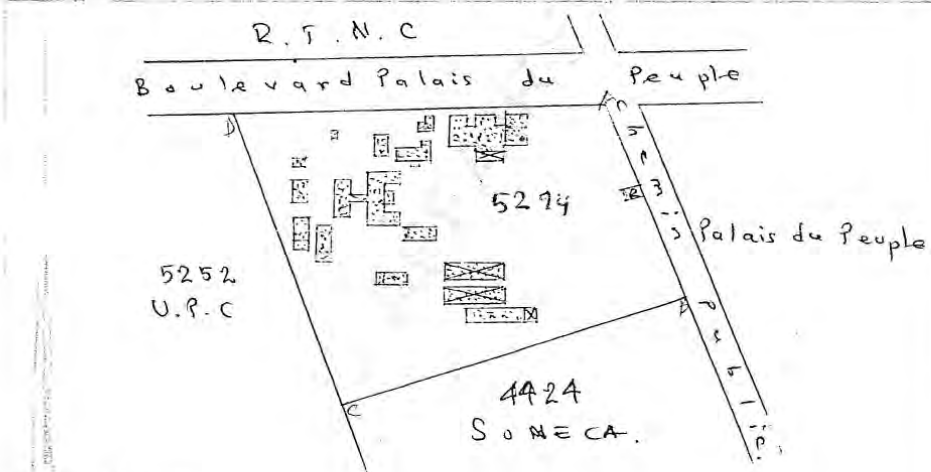


PROCES-VERBAL DE MESURAGE ET DE BORNAGE
OFFICIEL N° 52862

Nous **Jomas BATANGUA** Géomètre du Cadastre (1)
géomètre agréé, assermenté en cette qualité le _____
par le tribunal de première instance sis à _____

certifions avoir procédé l'an deux mille **quatorze, le première jour du mois de septembre**
au **X travaux de** mesurage et au bornage de la parcelle décrite ci-après à la demande de
Mr le chef de Division du cadastre/Lukunga

Province Kinshasa	Parcelle cadastrée sous le numéro 5294
District Lukunga	Superficie (2) 06 ha 55 ares 21 ca 72 %
Ville Kinshasa	six hectare cinquante cinq ares vingt
Localité Q. Television	et un centiares septante deux centièmes
Commune Lingwala	
Lieu dit av, palais du peuple	
Contenu éventuel de la parcelle: Des constructions et des servitudes éventuelles	
Indicateurs de repères et accolésants	



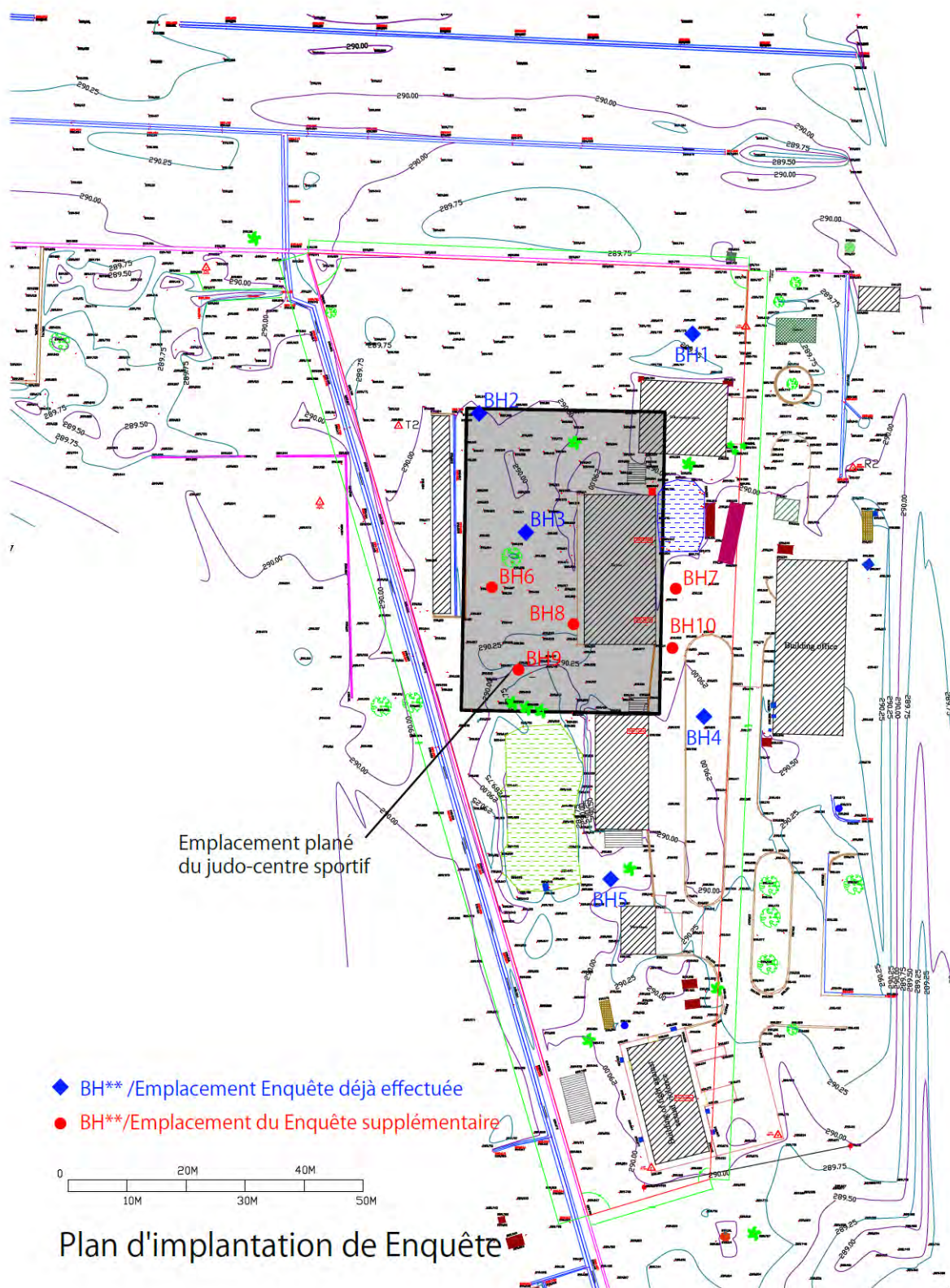
Echelle 1/5000

Sommet	Longueur	Angles
A	171,03 m	123v62
B	298,20 m	95v68
C	271,08 m	102v61
D	310,11 m	78v09
A	1050,42 m	400v00

Dimensions: **0,15mx0,15mx0,70m**
Sommet: **A, B, C & D**
Contenu: **plusieurs bâtiments**
Instrument: **Theodolite wild RDS ruban de 50 m**
Lieu: **Kinshasa**
Date: **01/09 2014**

Signature: _____
Date: _____
Lieu: _____
Géomètre: **Jomas Batangua**
Vérifié et accepté par: **Jomas Batangua**
Géomètre
Date: **01/09/2014**

6-3. サイト地質調査結果
ボーリング位置図



BORING NUMBER BH-01

Civil Engineering Laboratory

PAGE 1 OF 2

CLIENT <u>SYSTEM SCIENCE CONSULTANTS INC.</u>	PROJECT NAME <u>JUDO SPORT CENTER</u>
PROJECT NUMBER <u>2017/SSC/02</u>	PROJECT LOCATION <u>PNC HEADQUARTER - KINSHASA - DR CONGO</u>
DATE STARTED <u>14/2/17</u> COMPLETED <u>15/2/17</u>	GROUND ELEVATION <u>289.9 m</u> WGS84 HOLE SIZE <u>12.5 cm</u>
DRILLING CONTRACTOR <u>Labo Génie Civil</u>	GROUND WATER LEVELS:
DRILLING METHOD <u>Rotary drilling</u>	▽ AT TIME OF DRILLING <u>1.40 m / Elev 288.50 m</u>
LOGGED BY <u>F. Lunda</u> CHECKED BY <u>P. Ndolo</u>	▼ AT END OF DRILLING <u>1.10 m / Elev 288.80 m</u>
NOTES	▼ AFTER DRILLING <u>0.56 m / Elev 289.34 m</u>

DEPTH (m)	GRAPHIC LOG	MATERIAL DESCRIPTION	SAMPLE TYPE NUMBER	RECOVERY % (ROD)	BLOW COUNTS (N VALUE)	POCKET PEN. (kPa)	DRY UNIT WT. (Mg/m ³)	SPT N VALUE				
								PL	MC	LL		
		Vegetal topsoil, very loose										
		Very loose, embankment of yellow clayey sand										
		(SC) Black clayey sand, very loose,	UD 1	100	1-1-2 (3)							
		(CL) Yellowish gray sandy lean clay with brownish intrusions, Very soft to very stiff	SPT									
2			UD 2	100	1-1-3 (4)							
			SPT									
			UD 3	100	2-2-4 (6)							
			SPT									
4			UD 4	67	7-5-9 (14)							
			SPT									
		(SM) Silty sand with brownish intrusion, Very dense	UD 5	75	13-15-32 (47)							
			SPT									
6		(SP-SM) Poorly graded sand with silt, Loose	UD 6	37	2-2-6 (8)							
			SPT									
		(SP) Poorly graded sand (whitish kolin sand), Very dense	UD 7	33	10-15-50 (65)							
		(SP) with gravels	RC									
8		Coarse gravels, Very dense	SPT		50-50-50 (100)							
		Polymorphic sandstone	SPT		50-50-50 (100)							
		Weathered sandstone, Medium weak to very stiff	SPT		50-50-50 (100)							
10					50-50-50							

GEO TECH BH PLOTS - JICA TEST GPJ - GINT STD CANADA LAB GDT - 28/11/17

(Continued Next Page)

BORING NUMBER BH-02

Civil Engineering Laboratory

PAGE 1 OF 2

CLIENT SYSTEM SCIENCE CONSULTANTS INC. PROJECT NAME JUDO SPORT CENTER
 PROJECT NUMBER 2017/SSC/02 PROJECT LOCATION PNC HEADQUARTER - KINSHASA - DR CONGO
 DATE STARTED 13/2/17 COMPLETED 14/2/17 GROUND ELEVATION 290.01 m WGS84 HOLE SIZE 12.5 cm
 DRILLING CONTRACTOR Labo Génie Civil GROUND WATER LEVELS:
 DRILLING METHOD Rotary drilling ▽ AT TIME OF DRILLING 1.40 m / Elev 288.61 m
 LOGGED BY F. Lunda CHECKED BY P. Ndolo ▽ AT END OF DRILLING 0.88 m / Elev 289.13 m
 NOTES _____ ▽ AFTER DRILLING 0.54 m / Elev 289.47 m

DEPTH (m)	GRAPHIC LOG	MATERIAL DESCRIPTION	SAMPLE TYPE NUMBER	RECOVERY % (ROD)	BLOW COUNTS (N VALUE)	POCKET PEN. (kPa)	DRY UNIT WT. (Mg/m ³)	SPT N VALUE				
								20	40	60	80	
0.0 - 0.5	Vegetal topsoil, very loose											
0.5 - 1.0	Embankment of yellow clayey sand, very loose											
1.0 - 1.5	(SC) Black clayey sand, very loose		UD 1	83	1-1-2 (3)							
1.5 - 2.0	(CL) Greyish sandy lean clay, very loose to loose		SPT									
2.0 - 2.5	(CL) Colorful sandy lean clay, very soft to medium stiff		UD 2	100	1-1-3 (4)							
2.5 - 3.0			SPT									
3.0 - 3.5			UD 3	100	3-2-5 (7)							
3.5 - 4.0			SPT									
4.0 - 4.5			UD 4	100	5-4-11 (15)							
4.5 - 5.0			SPT									
5.0 - 5.5	(SC) Yellow clayey sand, medium stiff to stiff		UD 5	58	5-7-23 (30)							
5.5 - 6.0			SPT									
6.0 - 6.5	with gravels		AU 6		3-3-12 (15)							
6.5 - 7.0	(SM) Yellow gravels with silty sand, stiff soil		SPT									
7.0 - 7.5	(SP) Whitish kaolin sand with gravels, hard		UD 7	33	23-18-69 (87)							
7.5 - 8.0			SPT									
8.0 - 8.5	Coarse gravels, very dense Polymorphic sandstone		RC		50-50-50 (100)							
8.5 - 9.0												
9.0 - 9.5	Weathered sandstone, Medium weak to very stiff		SPT		50-50-50 (100)							
9.5 - 10.0												
10.0 - 10.5					50-50-50							

GEOTECH BH PLOTS JICA TEST GPJ GINT STD CANADA LAB GDT 28/11/17

(Continued Next Page)

BORING NUMBER BH-03

Civil Engineering Laboratory

PAGE 1 OF 2

CLIENT SYSTEM SCIENCE CONSULTANTS INC. **PROJECT NAME** JUDO SPORT CENTER
PROJECT NUMBER 2017/SSC/02 **PROJECT LOCATION** PNC HEADQUARTER - KINSHASA - DR CONGO
DATE STARTED 10/2/17 **COMPLETED** 13/2/17 **GROUND ELEVATION** 290.07 m WGS84 **HOLE SIZE** 12.5 cm
DRILLING CONTRACTOR Labo Génie Civil **GROUND WATER LEVELS:**
DRILLING METHOD Rotary drilling ▽ **AT TIME OF DRILLING** 0.92 m / Elev 289.15 m
LOGGED BY F. Lunda **CHECKED BY** P. Ndolo ▽ **AT END OF DRILLING** 0.78 m / Elev 289.29 m
NOTES ▽ **AFTER DRILLING** 0.59 m / Elev 289.48 m

DEPTH (m)	GRAPHIC LOG	MATERIAL DESCRIPTION	SAMPLE TYPE NUMBER	RECOVERY % (RQD)	BLOW COUNTS (N VALUE)	POCKET PEN. (kPa)	DRY UNIT WT. (Mg/m ³)	SPT N VALUE	
								20	40 60 80
		Vegetal topsoil, very soft							
		Embankment of yellow fine and clayey sand with gravels, Medium dense	UD 1	83					
		(SC) Black clayey sand, Medium			1-1-15 (16)				
		(SC) Greyish clayey sand, Medium stiff							
2		(SC) Greyish yellow clayey sand with reddish intrusions, very loose	UD 2	100	13-1-2 (3)				
			UD 3	100	1-1-1 (2)				
4		(CL) Greyish yellow sandy lean clay, Medium stiff	UD 4	100	2-4-8 (12)				
		(SC) Greyish yellow clayey sand with reddish intrusions, Medium dense							
			UD 5	58	1-2-6 (8)				
		(SM) Yellowish silty sand, Medium dense							
6			UD 6	83	3-4-12 (16)				
		(SM) Whitish silty sand, Very dense							
		With gravels	UD 7	42	3-3-7 (10)				
		Coarse gravels							
		Polymorphic sandstone			30-50-50 (100)				
8									
		Weathered sandstone			50-50-50 (100)				
10					50-50-50				

GEO TECH BH PLOTS - JICA TEST.GPJ GINT STD CANADA LAB.GDT 28/11/17

(Continued Next Page)

BORING NUMBER BH-04

Civil Engineering Laboratory

PAGE 1 OF 2

CLIENT SYSTEM SCIENCE CONSULTANTS INC. PROJECT NAME JUDO SPORT CENTER
 PROJECT NUMBER 2017/SSC/02 PROJECT LOCATION PNC HEADQUARTER - KINSHASA - DR CONGO
 DATE STARTED 16/2/17 COMPLETED 16/2/17 GROUND ELEVATION 289.93 m WGS84 HOLE SIZE 12.5 cm
 DRILLING CONTRACTOR Labo Génie Civil GROUND WATER LEVELS:
 DRILLING METHOD Rotary drilling ▽ AT TIME OF DRILLING 0.75 m / Elev 289.18 m
 LOGGED BY F. Lunda CHECKED BY P. Ndolo ▽ AT END OF DRILLING 0.61 m / Elev 289.32 m
 NOTES _____ ▽ AFTER DRILLING 0.55 m / Elev 289.38 m

DEPTH (m)	GRAPHIC LOG	MATERIAL DESCRIPTION	SAMPLE TYPE NUMBER	RECOVERY % (RQD)	BLOW COUNTS (N VALUE)	POCKET PEN. (kPa)	DRY UNIT WT. (Mg/m ³)	SPT N VALUE						
								20	40	60	80			
0		Vegetal topsoil, Very loose												
0.5		(SC) Black clayey sand, Very loose	UD 1	93										
1.0		(SC) Greyish yellow clayey sand with reddish intrusions, Very loose	SPT		1-1									
1.5		(CL) Greyish yellow sandy lean clay, Very loose												
2.0		(SC) Reddish yellow clayey sand with greyish intrusions, Loose	SPT		1-1-2 (3)									
3.0			UD 3	58										
3.5			SPT		2-1-4 (5)									
4.0			UD 4	67										
4.5			SPT		4-2-7 (9)									
5.0		with poor gravels	RC		50-50-50 (100)									
5.5		(SP) Kaolin sand with gravels, Medium dense												
6.0		Coarse gravels, Very dense	SPT		50-50-50 (100)									
6.5		Polymorphic sandstone	SPT		50-50-50 (100)									
7.0			SPT		50-50-50 (100)									
8.0			SPT		50-50-50 (100)									
9.0		Weathered sandstone, Medium weak to very stiff	SPT		50-50-50 (100)									
10.0					50-50-50									

GEOTECH BHPLOTS JICA TEST.GPJ GINT STD CANADA LAB.GDT 28/11/17

(Continued Next Page)

BORING NUMBER BH-05

PAGE 1 OF 2

Civil Engineering Laboratory

CLIENT SYSTEM SCIENCE CONSULTANTS INC. PROJECT NAME JUDO SPORT CENTER
 PROJECT NUMBER 2017/SSC/02 PROJECT LOCATION PNC HEADQUARTER - KINSHASA - DR CONGO
 DATE STARTED 17/2/17 COMPLETED 18/2/17 GROUND ELEVATION 289.9 m WGS84 HOLE SIZE 12.5 cm
 DRILLING CONTRACTOR Labo Génie Civil GROUND WATER LEVELS:
 DRILLING METHOD Rotary drilling ▽ AT TIME OF DRILLING 0.80 m / Elev 289.10 m
 LOGGED BY F. Lunda CHECKED BY P. Ndolo ▽ AT END OF DRILLING 0.51 m / Elev 289.39 m
 NOTES _____ ▽ AFTER DRILLING 0.49 m / Elev 289.41 m

DEPTH (m)	GRAPHIC LOG	MATERIAL DESCRIPTION	SAMPLE TYPE NUMBER	RECOVERY % (RQD)	BLOW COUNTS (N VALUE)	POCKET PEN. (kPa)	DRY UNIT WT. (Mg/m ³)	SPT N VALUE	
								PL	MC
0		Vegetal topsoil, Very loose							
0.5		(SC) Greyish clayey sand, Very loose	UD 1	58	1-1-1 (2)				
0.5		(SC) Yellow clayey sand with brown-reddish intrusions, Loose	SPT						
1.5		(CL) Yellow sandy lean clay, Very soft	UD 2	58	1-1				
1.5		(SC) Yellow clayey sand with brown-reddish intrusions, Loose	SPT						
3.5			UD 3	67	1-1-3 (4)				
3.5			SPT						
4.5			UD 4	83	2-3-54 (57)				
4.5		(SC) Yellow reddish clayey sand with greyish intrusions, Very dense	RC						
4.5		With gravels							
4.5		(SC) Whitish clayey sand with gravels, Very dense	SPT		50-50-50 (100)				
4.5		Coarse gravels, Very dense							
4.5		Polymorphic sandstone							
6.0			SPT		50-50-50 (100)				
7.0			SPT		50-50-50 (100)				
8.0			SPT		50-50-50 (100)				
10.0		Weathered sandstone							

GEO TECH BH PLOTS - JICA - TEST GPJ - GINT STD CANADA LAB.GDT - 28/11/17

(Continued Next Page)

BORING NUMBER BH-06

Civil Engineering Laboratory

PAGE 1 OF 1

CLIENT SYSTEM SCIENCE CONSULTANTS INC. **PROJECT NAME** JUDO SPORT CENTER
PROJECT NUMBER 2017/SSC/02 **PROJECT LOCATION** PNC HEADQUARTER - KINSHASA - DR CONGO
DATE STARTED 30/9/17 **COMPLETED** 2/10/17 **GROUND ELEVATION** 290.134 m WGS84 **BOREHOLE SIZE** 12.5 cm
DRILLING CONTRACTOR Labo Génie Civil **GROUND WATER LEVELS:**
DRILLING METHOD Rotary drilling **AT TIME OF DRILLING** 2.35 m / Elev 287.78 m
LOGGED BY F. Lunda **CHECKED BY** P. Ndolo **AT END OF DRILLING** 2.38 m / Elev 287.75 m
NOTES **AFTER DRILLING** 2.38 m / Elev 287.75 m

DEPTH (m)	GRAPHIC LOG	MATERIAL DESCRIPTION	SAMPLE TYPE NUMBER	RECOVERY % (ROD)	BLOW COUNTS (N VALUE)	POCKET PEN. (kPa)	DRY UNIT WT. (Mg/m ³)	SPT N VALUE	
								PL	LL
		Vegetal topsoil, very soft							
		Embankment of yellow fine and clayey sand with gravels, Medium dense	UD 1	100					
		(SC) Black clayey sand, Medium							
		(SC) Yellow clayey sand, Medium stiff							
2		(SC) Yellowish clayey sand with reddish intrusions, very loose	UD 2	100					
		(CL) Greyish yellow sandy lean clay with brownish intrusions, Medium stiff	UD 3	100					
4		(SC) Greyish yellow clayey sand with brownish and reddish intrusions, Medium dense	UD 4	83					
		(SM) Yellowish silty sand, Medium dense	AU						
6		(SM) Whitish silty sand, Medium dense	AU						
		Coarse gravels with fine grey sand	AU						
8		Polymorphic sandstone	RC RC	100	50-50-50- 50/-0.25				>>

Refusal at 7.80 meters.
Bottom of borehole at 8.60 meters.

GEO TECH BH PLOTS JICA_TEST GPJ GINT STD CANADA LAB GDT 28/11/17

BORING NUMBER BH-07

Civil Engineering Laboratory

PAGE 1 OF 1

CLIENT SYSTEM SCIENCE CONSULTANTS INC. **PROJECT NAME** JUDO SPORT CENTER
PROJECT NUMBER 2017/SSC/02 **PROJECT LOCATION** PNC HEADQUARTER - KINSHASA - DR CONGO
DATE STARTED 3/10/17 **COMPLETED** 3/10/17 **GROUND ELEVATION** 289.865 m WGS84 **HOLE SIZE** 12.5 cm
DRILLING CONTRACTOR Labo Génie Civil **GROUND WATER LEVELS:**
DRILLING METHOD Rotary drilling ▽ **AT TIME OF DRILLING** 2.47 m / Elev 287.40 m
LOGGED BY F. Lunda **CHECKED BY** P. Ndolo ▼ **AT END OF DRILLING** 2.46 m / Elev 287.41 m
NOTES ▼ **AFTER DRILLING** 2.46 m / Elev 287.41 m

DEPTH (m)	GRAPHIC LOG	MATERIAL DESCRIPTION	SAMPLE TYPE NUMBER	RECOVERY % (RQD)	BLOW COUNTS (N VALUE)	POCKET PEN. (kPa)	DRY UNIT WT. (Mg/m³)	SPT N VALUE						
								20	40	60	80			
		(SC) Black clayey sand, Very loose												
		(SC) Yellowish grey clayey sand, Very loose	AU											
2		(SC) Greyish yellow clayey sand, Very loose	AU											
		(CL) Greyish yellow sandy lean clay, Very loose	AU											
4		(CL) Yellow sandy lean clay, Loose	AU											
6		(SC) Grey clayey sand, medium dense	AU											
8		Polymorphic sandstone	RC	100	50-50-50-50/0.00									

Refusal at 7.40 meters.
Bottom of borehole at 8.10 meters.

GEO TECH BH PLOTS - IICA - TEST GPJ - GINT STD CANADA LAB GDT - 28/11/17

BORING NUMBER BH-08

Civil Engineering Laboratory

PAGE 1 OF 1

CLIENT SYSTEM SCIENCE CONSULTANTS INC. **PROJECT NAME** JUDO SPORT CENTER
PROJECT NUMBER 2017/SSC/02 **PROJECT LOCATION** PNC HEADQUARTER - KINSHASA - DR CONGO
DATE STARTED 1/10/17 **COMPLETED** 1/10/17 **GROUND ELEVATION** 290.155 m WGS84 **HOLE SIZE** 12.5 cm
DRILLING CONTRACTOR Labo Génie Civil **GROUND WATER LEVELS:**
DRILLING METHOD Rotary drilling ▽ **AT TIME OF DRILLING** 2.40 m / Elev 287.76 m
LOGGED BY F. Lunda **CHECKED BY** P. Ndolo ▼ **AT END OF DRILLING** 2.41 m / Elev 287.75 m
NOTES ▼ **AFTER DRILLING** 2.43 m / Elev 287.73 m

DEPTH (m)	GRAPHIC LOG	MATERIAL DESCRIPTION	SAMPLE TYPE NUMBER	RECOVERY % (RQD)	BLOW COUNTS (N VALUE)	POCKET PEN. (kPa)	DRY UNIT WT. (Mg/m ³)	SPT N VALUE						
								20	40	60	80			
		Vegetal topsoil, very soft												
		(SC) Black clayey sand, Medium dense	UD 1	83										
		(SC) Yellowish grey clayey sand with reddish and brownish intrusions, Medium stiff												
2		(CL) Brownish yellow sandy lean clay, Medium stiff	UD 2	100										
		(SC) Yellowish grey clayey sand with reddish intrusions, Medium dense	UD 3	92										
4			UD 4	42										
			UD 5	100										
		(CL) Coarse gravels with yellowish light brown clay, medium stiff												
		(GP-GC) Yellowish brown clayey gravels	UD 6	33										
6		Polymorphic sandstone	RC	90	50-50-50-50/0.05									

Refusal at 5.88 meters.
Bottom of borehole at 6.40 meters.

GEO TECH BH PLOTS - JICA - TEST.GPJ - GINT STD CANADA LAB.GDT - 28/11/17

BORING NUMBER BH-09

Civil Engineering Laboratory

PAGE 1 OF 1

CLIENT SYSTEM SCIENCE CONSULTANTS INC. PROJECT NAME JUDO SPORT CENTER
 PROJECT NUMBER 2017/SSC/02 PROJECT LOCATION PNC HEADQUARTER - KINSHASA - DR CONGO
 DATE STARTED 2/10/17 COMPLETED 4/10/17 GROUND ELEVATION 290.372 m WGS84 HOLE SIZE 12.5 cm
 DRILLING CONTRACTOR Labo Génie Civil GROUND WATER LEVELS:
 DRILLING METHOD Rotary drilling ▽ AT TIME OF DRILLING 2.30 m / Elev 288.07 m
 LOGGED BY F. Lunda CHECKED BY P. Ndolo ▼ AT END OF DRILLING 2.31 m / Elev 288.06 m
 NOTES _____ ▼ AFTER DRILLING 2.32 m / Elev 288.05 m

DEPTH (m)	GRAPHIC LOG	MATERIAL DESCRIPTION	SAMPLE TYPE NUMBER	RECOVERY % (ROD)	BLOW COUNTS (N VALUE)	POCKET PEN. (kPa)	DRY UNIT WT. (Mg/m ³)	SPT N VALUE						
								20	40	60	80			
		Vegetal topsoil, very soft												
		(SC) Black clayey sand, Medium dense												
		(CL) Grey sandy lean clay, Medium dense	AU											
		(SC) Yellowish grey clayey sand with brownish intrusions, Medium dense	AU											
		(SC) Greyish yellow clayey sand with reddish and brownish intrusions, Medium dense	AU											
2			AU											
			AU											
			AU											
4			AU											
		Polymorphic sandstone	RC	83	50-50-50-50 (100)									

Refusal at 4.40 meters.
Bottom of borehole at 4.80 meters.

GEOTECH BH PLOTS JICA TEST.GPJ GINT STD CANADA LAB.GDT 28/11/17

BORING NUMBER BH-10

Civil Engineering Laboratory

PAGE 1 OF 1

CLIENT SYSTEM SCIENCE CONSULTANTS INC. **PROJECT NAME** JUDO SPORT CENTER
PROJECT NUMBER 2017/SSC/02 **PROJECT LOCATION** PNC HEADQUARTER - KINSHASA - DR CONGO
DATE STARTED 2/10/17 **COMPLETED** 3/10/17 **GROUND ELEVATION** 290.069 m WGS84 **BORE HOLE SIZE** 12.5 cm
DRILLING CONTRACTOR Labo Génie Civil **GROUND WATER LEVELS:**
DRILLING METHOD Rotary drilling **AT TIME OF DRILLING** 2.50 m / Elev 287.57 m
LOGGED BY F. Lunda **CHECKED BY** P. Ndolo **AT END OF DRILLING** 2.46 m / Elev 287.61 m
NOTES **AFTER DRILLING** 2.49 m / Elev 287.58 m

DEPTH (m)	GRAPHIC LOG	MATERIAL DESCRIPTION	SAMPLE TYPE NUMBER	RECOVERY % (RQD)	BLOW COUNTS (N VALUE)	POCKET PEN. (kPa)	DRY UNIT WT. (Mg/m ³)	SPT N VALUE				
								20	40	60	80	
0.0		Vegetal topsoil										
0.0 - 0.5		(SC) Yellow clayey sand, Very loose										
0.5 - 1.0		(SC) Black clayey sand, Very loose										
1.0 - 1.5		(CL) Yellow grey sandy lean clay with reddish intrusions, Loose	AU									
1.5 - 2.0		(SC) Greyish yellow clayey sand, medium dense										
2.0 - 2.5		(CL) Yellow grey sandy lean clay with brownish intrusions, Loose	AU									
2.5 - 3.0			AU									
3.0 - 3.5			AU									
3.5 - 4.0			AU									
4.0 - 4.5			AU									
4.5 - 5.0			AU									
5.0 - 5.5			AU									
5.5 - 6.0		(SC) Grey clayey sand, medium dense	AU									
6.0 - 6.5			AU									
6.5 - 7.0			AU									
7.0 - 7.5			AU									
7.5 - 8.0		Polymorphic sandstone	RC	83	50-50-50-							
8.0 - 8.5		Refusal at 7.90 meters. Bottom of borehole at 8.00 meters.	RC		50/-0.15							

GEOTECH BH PLOTS - JICA TEST GPJ GINT STD CANADA LAB.GDT - 28/11/17

6-4. 環境チェックリスト

分類	環境項目	主なチェック事項	Yes: Y No: N NA: Not applied	具体的な環境社会配慮 (Yes/No の理由・根拠、緩和策等)
1 許認可・説明	(1)EIA および環境許認可	(a) 環境アセスメント報告書 (EIA レポート)等は作成済みか。 (b) EIA レポート等は当該国政府により承認されているか。 (c) EIA レポート等の承認は付帯条件を伴うか。付帯条件がある場合は、その条件は満たされるか。 (d) 上記以外に、必要な場合には現地の所管官庁からの環境に関する許認可は取得済みか。	(a) N (b) N (c) Y (d) Y	(a)～(d) 環境許認可機関であるコンゴ民環境局 (ACE) にスクリーニング申請書を提出したところ、EIA の必要ない事業として許可証に相当するレターを受領した。ただし、後日詳細な事業計画と環境管理計画を提出することが条件付けられた。環境管理計画は詳細な事業計画が策定される DD 時に事業計画とともに提出する。
	(2)現地ステークホルダーへの説明	(a) プロジェクトの内容および影響について、情報公開を含めて現地ステークホルダーに適切な説明を行い、理解を得ているか。 (b) 住民等からのコメントを、プロジェクト内容に反映させたか。	(a) Y (b) Y	(a) ステークホルダー会議の必要ない事業だが、隣接大学やスポーツ関係者の意見は収集した。 (b) プロジェクト内容の検討時に参照した。
	(3)代替案の検討	(a) プロジェクト計画の複数の代替案は (検討の際、環境・社会に係る項目も含めて) 検討されているか。	(a) Y	(a) スポーツセンターの大きさや用途について、環境・社会も含めて代替案を検討した。
2 汚染対策	(1)大気質	(a) 対象となるインフラ施設及び付帯設備等から排出される大気汚染物質 (硫黄酸化物 (SOx)、窒素酸化物 (NOx)、煤じん等) は当該国の排出基準、環境基準等と整合するか。大気質に対する対策は取られるか。 (b) 宿泊施設等での電源・熱源は排出係数 (二酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物等) が小さい燃料を採用しているか。	(a) N (b) Y	(a) 恐れはない。 (b) グリッドの電力を利用
	(2)水質	(a) インフラ施設及び付帯設備等からの排水または浸出水は当該国の排出基準、環境基準等と整合するか。	(a) Y	(a) コンゴ民の基準は無いが、IFC の基準以下に抑える。
	(3)廃棄物	(a) インフラ施設及び付帯設備からの廃棄物は当該国の規定に従って適切に処理・処分されるか。	(a) Y	(a) コンゴ民の廃棄物処理規定に従い、最終処分場への投棄や処理を行う。
	(4)土壌汚染	(a) インフラ施設及び付帯設備からの排水、浸出水等により、土壌・地下水を汚染しない対策がなされるか。	(a) N	(a) 恐れはない。
	(5)騒音・振動	(a) 騒音、振動は当該国の基準等と整合するか。	(a) Y	(a) コンゴ民の基準は無いが、IFC の基準以下に抑える。
	(6)地盤沈下	(a) 大量の地下水汲み上げを行う場合、地盤沈下が生じる恐れがあるか。	(a) N	(a) 恐れはない。
	(7)悪臭	(a) 悪臭源はあるか。悪臭防止の対策はとられるか。	(a) N	(a) 悪臭源は想定されていない。
3 自	(1)保護区	(a) サイトは当該国の法律・国際条約等に定められた保護区内に立地するか。プロジェクトが保護区に影響を与えるか。	(a) N	(a) 保護区はサイト及び周辺にない。

	(2)生態系	(a) サイトは原生林、熱帯の自然林、生態学的に重要な生息地（珊瑚礁、マングローブ湿地、干潟等）を含むか。 (b) サイトは当該国の法律・国際条約等で保護が必要とされる貴重種の生息地を含むか。 (c) 生態系への重大な影響が懸念される場合、生態系への影響を減らす対策はなされるか。 (d) プロジェクトによる水利用（地表水、地下水）が、河川等の水域環境に影響を及ぼすか。水生生物等への影響を減らす対策はなされるか。	(a) N (b) N (c) N (d) N	(a) - (b) - (c) - (d) -
	(3)水象	(a) プロジェクトによる水系の変化に伴い、地表水・地下水の流れに悪影響を及ぼすか。	(a) N	(a) -
	(4)地形・地質	(a) プロジェクトにより、サイト及び周辺の地形・地質構造が大規模に改変されるか。	(a) N	(a) -
4 社 会 環 境	(1)住民移転	(a) プロジェクトの実施に伴い非自発的住民移転は生じるか。生じる場合は、移転による影響を最小限とする努力がなされるか。(b) 移転する住民に対し、移転前に補償・生活再建対策に関する適切な説明が行われるか。(c) 住民移転のための調査がなされ、再取得価格による補償、移転後の生活基盤の回復を含む移転計画が立てられるか。(d) 補償金の支払いは移転前に行われるか。(e) 補償方針は文書で策定されているか。(f) 移転住民のうち特に女性、子供、老人、貧困層、少数民族・先住民族等の社会的弱者に適切な配慮がなされた計画か。(g) 移転住民について移転前の合意は得られるか。(h) 住民移転を適切に実施するための体制は整えられるか。十分な実施能力と予算措置が講じられるか。(i) 移転による影響のモニタリングが計画されるか。(j) 苦情処理の仕組みが構築されているか。	(a) N(b) NA(c) NA(d) NA(e) NA(f) NA(g) NA(h) NA(i) NA(j) NA	(a) -(b) -(c) -(d) -(e) -(f) -(g) -(h) -(i) -(j) -
	(2)生活・生計	(a) プロジェクトによる住民の生活への悪影響が生じるか。必要な場合は影響を緩和する配慮が行われるか。	(a) N	(a) -
	(3)文化遺産	(a) プロジェクトにより、考古学的、歴史的、文化的、宗教的に貴重な遺産、史跡等を損なう恐れはあるか。また、当該国の国内法上定められた措置が考慮されるか。	(a) N	(a) -
	(4)景 観	(a) 特に配慮すべき景観が存在する場合、それに対し悪影響を及ぼすか。影響がある場合には必要な対策は取られるか。 (b) 大規模な宿泊施設や建築物の高層化によって景観が損なわれる恐れがあるか。	(a) N (b) N	(a) - (b) -
	(5)少数民族、先住民族	(a) 少数民族、先住民族の文化、生活様式への影響を軽減する配慮がなされているか。 (b) 少数民族、先住民族の土地及び資源に関する諸権利は尊重されるか。	(a) NA (b) NA	(a) - (b) -

	(6)労働環境	<p>(a) プロジェクトにおいて遵守すべき当該国の労働環境に関する法律が守られるか。</p> <p>(b) 労働災害防止に係る安全設備の設置、有害物質の管理等、プロジェクト関係者へのハード面での安全配慮が措置されるか。</p> <p>(c) 安全衛生計画の策定や作業員等に対する安全教育（交通安全や公衆衛生を含む）の実施等、プロジェクト関係者へのソフト面での対応が計画・実施されるか。</p> <p>(d) プロジェクトに関する警備要員が、プロジェクト関係者・地域住民の安全を侵害することのないよう、適切な措置が講じられるか。</p>	<p>(a) Y</p> <p>(b) Y</p> <p>(c) Y</p> <p>(d) Y</p>	<p>(a) 事業者は労働環境に関する法律を遵守する。</p> <p>(b) 事業者は安全配慮を措置する。</p> <p>(c) 事業者は安全衛生等に関するソフト面での対応を計画する。</p> <p>(d) 事業者は警備要員の教育を徹底する。</p>
5 その他	(1)工事中の影響	<p>(a) 工事中の汚染（騒音、振動、濁水、粉じん、排ガス、廃棄物等）に対して緩和策が用意されるか。</p> <p>(b) 工事により自然環境（生態系）に悪影響を及ぼすか。また、影響に対する緩和策が用意されるか。</p> <p>(c) 工事により社会環境に悪影響を及ぼすか。また、影響に対する緩和策が用意されるか。</p>	<p>(a) Y</p> <p>(b) N</p> <p>(c) N</p>	<p>(a) 影響を緩和するための対策をコントラクターとの契約に盛り込む。</p> <p>(b) 敷地内の大木（カポック）は残すようにする。</p> <p>(c) 悪影響が無いよう対策をコントラクターとの契約に盛り込む。</p>
	(2)モニタリング	<p>(a) 上記の環境項目のうち、影響が考えられる項目に対して、事業者のモニタリングが計画・実施されるか。</p> <p>(b) 当該計画の項目、方法、頻度等どのように定められているか。</p> <p>(c) 事業者のモニタリング体制（組織、人員、機材、予算等とそれらの継続性）は確立されるか。</p> <p>(d) 事業者から所管官庁等への報告の方法、頻度等は規定されているか。</p>	<p>(a) Y</p> <p>(b) N</p> <p>(c) Y</p> <p>(d) N</p>	<p>(a) DD 期間内に作成するモニタリング計画を事業者は実施する。</p> <p>(b) JICA 調査で提案する計画を DD で詳細設計に合わせて策定する。</p> <p>(c) 事業者は環境管理官を配置してモニタリング体制を整備する。</p> <p>(d) DD 期間内にモニタリング計画にあわせて ACE への方向内容を決定する。</p>
6 留意点	他の環境チェックリストの参照	<p>(a) 必要な場合、道路、鉄道、橋梁に係るチェックリストの該当チェック事項も追加して評価すること（インフラ施設に関連して、アクセス道路等が設置される場合等）。</p> <p>(b) 電話線敷設、鉄塔、海底ケーブル等については、必要に応じて、送変電・配電に係るチェックリストの該当チェック事項も追加して評価すること。</p>	<p>(a) NA</p> <p>(b) NA</p>	<p>(a) -</p> <p>(b) -</p>
	環境チェックリスト使用上の注意	<p>(a) 必要な場合には、越境または地球規模の環境問題への影響も確認する（廃棄物の越境処理、酸性雨、オゾン層破壊、地球温暖化の問題に係る要素が考えられる場合等）。</p>	<p>(a) NA</p>	<p>(a) -</p>